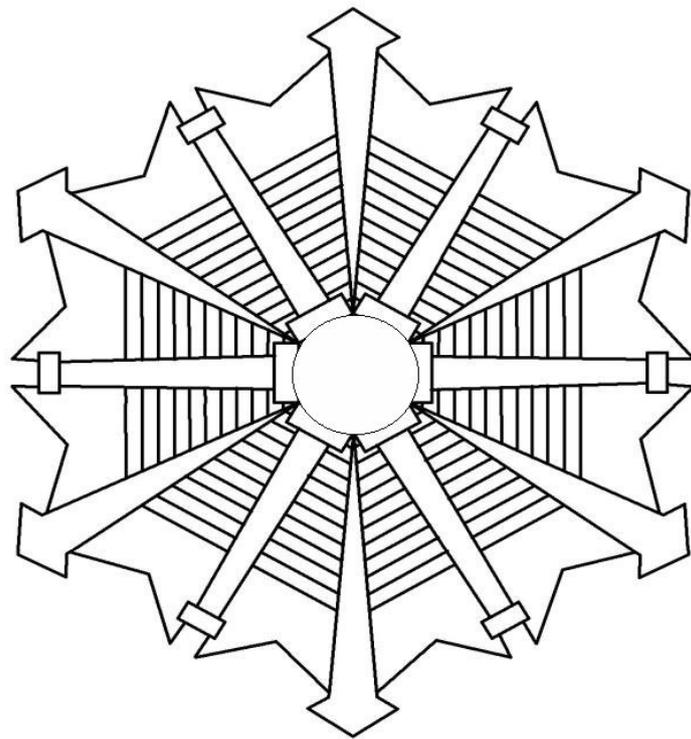


平成29年版

消 防 年 報



岩国地区消防組合

ま え が き

この消防年報は、岩国地区消防組合及び構成市町（岩国市、和木町）の消防現勢及び消防業務に関する諸般の資料を収録し、将来の参考にするとともに、消防事情を広く一般に公開することを目的として編集したものです。

「地域のみなさんの安心・安全を確保する」という任務を遂行するためには、消防活動の分析及び検討が不可欠であり、この年報が今後の消防行政の効果的推進を図るうえでの一助となれば幸甚です。

なお、各資料のうち、予算事項等については会計年度とし、その他の事項についてはすべて暦年といたしました。

平成30年3月

岩国地区消防組合

管内一目統計

面積・人口・世帯	面積	人口	人口密度	世帯数
	884.3km ²	144,896人	163.8人/km ²	69,035世帯

予算・機構・人事	消防予算	署・所	職員数	
	20億6,332万円 住民一人当たり 14,240円 (構成市町全体)	消防本部 1 消防署 1 出張所 5 機関員駐在所 3	定員 230名	実員 214名

機械・施設	ポンプ・タンク車	特殊車両	救急車	水利
	ポンプ車 13台 タンク車 2台	はしご車 2台 化学車 2台 原液搬送車 1台 救助工作車 1台 多目的搬送車 1台 資機材搬送車 1台 指揮隊車 1台	高規格救急車10台	消火栓 公設3,012基 私設 205基 防火水槽 公設 525基 私設 77基

火災・救急	火災件数	出火原因	救急件数	事故種別
	66件 5.5日に1件の割合で発生	①たき火 8件 ②たばこ 6件 ③放火 4件	7,473件 1日あたり 20.4件	①急病 4,273件 57.2% ②一般負傷 1,203件 16.1% ③交通事故 572件 7.7%

予防	防火対象物	危険物施設	石油コンビナート関係	火薬取締法関係	自主防災組織等
	17条 4,618件 8条 1,112件	製造所 27件 貯蔵所 738件 取扱所 234件	特定事業所 7事業所	火薬庫 6件 販売所 2件 火薬庫外貯蔵所 2件 消費場所 14件	婦人消防隊 2団体 少年消防クラブ 2団体 幼年消防クラブ 9団体

岩国地区消防歌

作詞・生田恵子 / 補作詞・村井一郎 / 作曲・青木 進

The musical score is written in treble clef with a key signature of one flat (B-flat) and a common time signature (C). It consists of six staves of music. The lyrics are written below the notes. Dynamics include *mf* (mezzo-forte) and *f* (forte). There are repeat signs and first, second, and third endings indicated by numbers 1, 2, and 3 above the notes.

み どり の み ね の き り は れ
 て に し き の か わ は な が れ つ
 ぐ わ が い わ く に と ち ょ う そ ん
 の か さ い を し ず め み ず ふ せ
 ぐ い わ く に ち く し ょ う ぼ う に あ あ
 ほ こ ら し き し め い あ ー り か り

岩国地区消防歌

一

緑の峯の霧晴れて
 錦の川は流れつぐ
 わが岩国と 町村の
 火災を鎮め 水防ぐ
 岩国地区消防に
 あゝ誇らしき 使命あり

二

輝く瀬戸の波清く
 平和の光り 射すところ
 ゆたかな大地 踏みしめて
 今颯爽と 奮い起つ
 岩国地区消防に
 あゝいや崇き 理想あり

三

錦帯橋の名もゆかし
 文化の華の咲くところ
 日夜を問わず 人々の
 泰けき暮らし 護りぬく
 岩国地区消防に
 あゝ完璧の 備えあり

目 次

I 概 要

1. 位置、地勢、特性	1
2. 気象状況	2
3. 消防の沿革	3
4. 大火の歴史	22
5. 歴代消防長	27
6. 消防本部、消防署、出張所、機関員駐在所の分布図	28
7. 管内状況	28
8. 消防相互応援協定等締結状況	29
9. 平成29年中の主要行事	30
10. 平成29年岩国地区消防組合五大ニュース	32

II 総 務

1. 組 織	35
2. 事務分掌	37
3. 予算（当初予算）	43
4. 職員の採用試験状況	44
5. 職員の配置状況	45
6. 職員の年齢構成	46
7. 職員の消防学校等入校状況	47
8. 職員免許資格取得状況	48
9. 消防音楽隊	49

III 消防施設

1. 消防庁舎の現況	51
2. 消防車両保有状況	52
3. 消防車両一覧表	53
4. 機械器具等保有状況	55
5. 消防水利の現況	57

IV	通信施設	
1.	通信指令室の様相	59
2.	消防通信の概況	59
3.	高機能消防指令センター構成図	60
4.	デジタル無線通信系統図	61
5.	月別119番受信状況	62
V	火災	
1.	火災概況	63
2.	管轄別・市町別・月別火災発生状況	65
3.	火災別・市町別・月別出火原因	67
4.	平成29年中の主な火災	68
5.	過去10年間の火災動態	68
6.	過去10年間の建物火災発生場所分類	69
VI	救急	
1.	救急概況	71
2.	管轄別・市町別・月別救急発生状況	72
3.	現場到着所要時間別出場件数	74
4.	病院収容所要時間別搬送人員	74
5.	応急手当普及啓発活動実施状況	75
VII	救助	
1.	救助概況	77
2.	救助出動・活動状況	78
3.	管轄別・市町別救助出動状況	79

VIII 予 防

1. 防火対象物の現況	81
2. 中高層建築物	83
3. 防火管理者選任状況	84
4. 防火対象物査察実施状況	85
5. 用途別消防用設備等受付事務処理状況	86
6. 用途別建築確認申請同意状況	87
7. 工事種別建築確認申請同意状況	88
8. 火災予防条例等に基づく届出状況	88
9. 火薬類取締法関係処理状況	88
10. 危険物事務処理状況	89
11. 危険物施設数及び立入検査実施状況	89
12. 危険物施設事業所数	90
13. 屋外タンク貯蔵所容量別数	90
14. 危険物施設倍数別状況	91
15. 危険物取扱者試験の実施状況	92
16. 化学消火剤備蓄状況	92
17. 広報活動等の実施状況	93
18. 幼年・少年消防クラブの現況	94
19. 婦人消防隊の現況	94

IX 消防団

1. 消防団の人員と主要装備	95
2. 消防団活動状況	96
3. 消防団員の年齢構成	97
4. 消防団員の在職年数	97
5. 消防団員年額報酬	98
6. 消防団員費用弁償	98

I 概 要

1. 位置、地勢、特性

岩国地区消防組合は山口県の東端に位置し、広島・島根両県と県境を接する岩国市と玖珂郡和木町の1市1町で構成される一部事務組合である。

管内人口は約14万4千人、管轄面積は瀬戸内海沿岸部から中国山地の山懐までの約884 k m²で、山口県で2番目の広さを有している。

岩国市中心部を流れる錦川には、日本三名橋の一つである錦帯橋が架けられ、その周辺には岩国城や武家屋敷をはじめとする歴史的建造物が多数残っており、一年を通じて多くの観光客が訪れている。

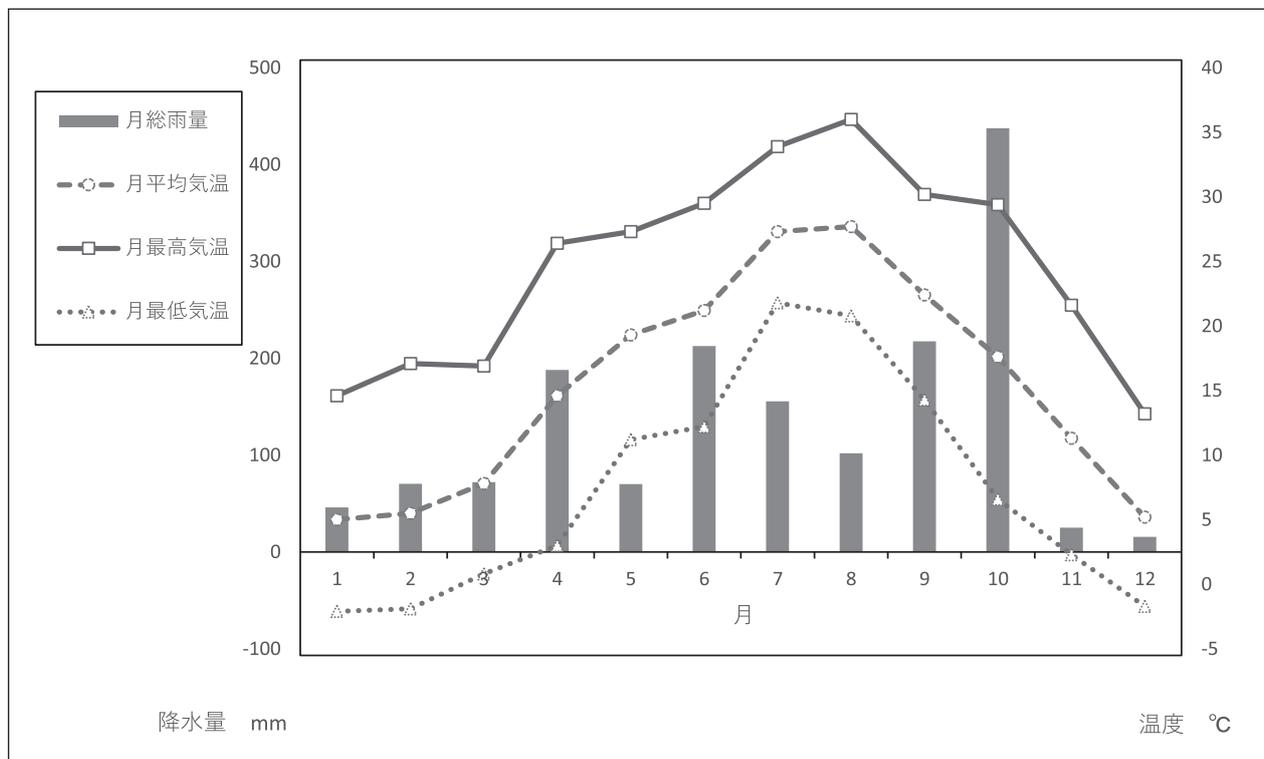
また、管内の沿岸部には広島県大竹市と連なる大規模な石油コンビナート工場群が林立、錦川下流のデルタ地帯には、アメリカ合衆国海兵隊と海上自衛隊が共用する航空基地がある。平成24年には、軍民共用空港として「岩国錦帯橋空港」が新たに開港、山口県東部の空の玄関口として多くの利用客で活況を呈している。



2. 気象状況

観測地点 消防本部庁舎屋上

区 分		月 別											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
風速 m/s	月 平 均 値	3.3	3.3	3.1	2.9	2.6	2.4	2.2	2.5	2.9	2.7	3.1	3.2
	月瞬間最大風速	24.7	17.8	18.1	22	22.1	19.1	17.8	18.4	20.2	15.8	18.6	19
	最大風速時風向	南西	西	西	南	南西	西	南西	北	南	北	西北西	西北西
気温 ℃	月 平 均 値	5	5.5	7.8	14.6	19.3	21.2	27.3	27.7	22.4	17.6	11.3	5.2
	月 最 高 値	14.6	17.1	16.9	26.4	27.3	29.5	33.9	36	30.2	29.4	21.6	13.2
	月 最 低 値	-2.1	-1.9	0.8	3	11.2	12.2	21.8	20.8	14.3	6.6	2.3	-1.7
湿度 %	月 平 均 値	78.2	74.7	72.2	73	70.6	77.2	86.8	81.8	82	85.7	80	64.1
	月 最 高 値	98.3	98.3	98	98.3	98.3	98.3	98.3	98	98.3	98.3	98	95.2
	月 最 低 値	38.3	22.7	17.2	13.6	16.6	29.9	49.4	38.6	28.6	43.3	34.9	29.7
雨量 mm	月 総 雨 量	46	70.5	72	188	70	212.5	155.5	102	217.5	437.5	25	15.5
	1 日 間 最 高 値	18	30	33	80	27.5	55	49	38.5	94	92	9	8.5
	1 時 間 最 高 値	4	9	7.5	19	8.5	43	45.5	27.5	22	13.5	3	3.5
	10 分 間 最 高 値	1	2	2	5	2	20	17.5	11	7	3.5	1.5	1.5
降雨、降雪の観測日数		7	6	9	9	8	10	10	10	10	17	8	4



3. 消防の沿革

(1) 藩政時代の消防

岩国消防の歴史については、岩国の歴史とともに慶長5年（西暦1600年）関ヶ原役後、吉川広家岩国入封と同時に大きく変わって、組織だったものが出来たものと思われる。

正徳5年（西暦1715年）6代経永まで100年間の消防に関する史料については明らかでない。経永の代になり下記の様な史料が見られる。

享保4年（1719年）11. 17	出火時の心得箇条公布
享保14年（1729年）5. 27	椎尾下山県屋敷を召し上げ火の用心のため広小路とする。
元文5年（1740年）12. 10	大阪鴻池又左衛門より龍吐水を献ず
寛保2年（1742年）	火事仕組書公布

参 考

岩国旧記 30 火事仕組 寛保2年壬戌

1. 横山、錦見、川西出火の節は

御 蔵 元	昼は纏、夜は高揚挑灯
御 職 座	鳶のもの 6人用達
	用達勘定方1人小者1人付添
裏 判 方 2人	新夫 3人
	内1人 小揚燈灯持
	内1人 自分燈灯持
	内1人 手明のこと
元 〆 方 1人	挑灯持 1人
	御道具方小使 1人
勘 定 方 1人	小者新夫 1人
	夜は挑灯持 1人

2. 多田、御庄、中津、室の木、今津出火の節は

御 蔵 元	昼は纏、夜は大揚挑灯新夫1人
裏 判 方 1人	内1人 小揚燈灯持
	新夫2人内1人 道具持
元 〆 方 1人	御道具田小使1人、非番より他に夜は揚挑灯持1人
勘 定 方 1人	小者1人 夜は挑灯持1人

3. 向今津、門前、牛野谷、関戸、大内迫、池ヶ迫、柱野出火の節は

元 〆 方 1人	挑灯持1人勿論昼は不入浮役1人付添
----------	-------------------

山 方 両 人	御道具小使 1 人非番より
(注) 御 蔵 元	上記の通り候事 県政民政司法等を掌理した御役所すなわち行政府に 属するもの。
御 職 座	民生財政を掌理した御蔵元の長官で行政の最高責任 者、家元中老の中から選ぶ。
裏 判 方	職座の補佐40石～150石までの士から選ぶ 2 人又は 3 人を置く。
元 〆 方	郡代に当たり諸代官の上において在方の総轄である。 40石～50石の士より選ぶ。
勘 定 役	理財会計の事をつかさどる。藩主の旅行および土木 も又その管轄。頭 2～3 人以下数人の助役。
浮 役	領内巡視役 主として土木の査察。
(2) 明治初年より市制施行までの消防	
明治 4 年 (1871) 4 月	「横山、錦見、川西、万谷、千石原等出火の節防御仕組」 というものが発表せられ、藩庁、乗越御門、千石原 御門昌明館、治功御社、洞泉寺、学校 3 か所、 その他の警固について規定。
明治 8 年 (1875) 8 月10日	義濟堂非常規則を制定。 第 1 章より43章に及ぶ堂中章程によれば小頭以下20 人を以って応変組なる組織を編成、出動区分も第 1 出動区域より第 3 出動区分を設定。
明治12年 (1879) 1 月	消防組条例を制定。 錦見村、岩国町の連合で消防組が県知事より許可な る。
明治18年 (1885)	消防組を助けるため、岩国町に人員40名の協力社を 設ける。
明治20年 (1887) 11月	県令132号公立消防組準則により岩国消防組 (人員 60名)、錦見消防組 (人員50名)、横山村及び川西村 に連合の横川消防組 (人員60名) が編成せられる。
明治21年 (1888)	今津村に消防火夫を置き消防に当たらせる。
明治22年 (1889)	市町村制施行に伴い横山、川西、平田が横山村とな り横川消防組は横山消防組、岩国町と錦見村が合併 して岩国消防組を編成。

明治27年 (1894)	消防制度の改革。 全国的に消防制度が統一せられ、消防は警察行政の一部とすることが明示せられる。
明治29年 (1896)	麻里布町消防手55名を以って消防組を置く。
明治30年 (1897)	新港に消防組を置く。
明治32年 (1899)	今津に消防組を置く。
明治33年 (1900)	麻里布消防組を設置。 第1部新港、第2部今津の2部制とする。
明治38年 (1905)	岩国町と横山村を合併、岩国消防組を編成、2部制を敷く。第1部を岩国町役場、第2部を川西共有家屋にそれぞれ本部を置く。区域第1部大字錦見、岩国（土手町を除く）第2部横山、川西、平田大字土手町 人員総数120名。
明治44年 (1911)	岩国消防組4部制とし200名に増員。 麻里布消防組第1部に装束私設消防組、第2部に室の木、浦ヶ浜私設消防組をそれぞれ編入合併。
大正6年 (1917)	岩国消防組5部制200名とする。
大正12年 (1923)	灘村に消防組を編成。
大正14年 (1925) 8月	愛宕村に消防組を編成。人員47名。 小頭は尾津、門前、牛野谷より各1名選出。
大正14年 (1925)	川下村中津部落に消防組を置く。
大正15年 (1926)	川下村向今津部落に消防組を置く。 村内を通じ40名の消防員を養成する。
昭和3年 (1928)	岩国消防組戊申消防会発足なる。 消防組員の素質並びに消防知識の向上を図り消防事務の改善発達を期するため、消防組幹部、町会長、消防後援会長らにより組織される。
昭和5年 (1930)	灘村消防組3部制とする。
昭和7年 (1932)	岩国町消防組5部制を本部の外5部を置き、人員総計248名とする。灘村消防組を増員。
昭和8年 (1933) 12月	川下村消防組を編成。 4部制とし消防員112名に増員。

(3) 市制施行より現在までの消防

時局の進展により、消防団や在郷軍人その他によって警防団が結成されていたが、昭和14年1月警防団令が発布されて、4月1日から実施となる。

昭和15年4月1日	岩国市制施行、岩国市警防団結成、岩国7部、麻里布4部、川下4部、愛宕3部、灘3部、21部制団長以下1,025名。
昭和22年4月30日	消防団令公布。
昭和22年7月5日	岩国警防団を解消、消防団を組織、5か分団総員482名。
昭和23年8月13日	消防組織法が施行され岩国市消防本部が設置される。消防長以下職員5名。
昭和26年7月25日	岩国市消防団条例制定。
昭和26年8月1日	岩国市消防署設置。消防長以下職員13名。
昭和27年3月21日	消防署に水槽付消防ポンプ自動車（錦竜号第1号車）を購入、配備。
昭和27年4月5日	西岩国に出張所を置く。
昭和27年9月2日	米軍第6418空軍連隊との間に火災、災害時の相互協定締結。
昭和27年9月22日	消防庁舎完成（旧庁舎）。火災専用電話「999」設置。
昭和28年7月11日	岩国市火災予防条例制定。 消防団条例の一部改正により次の編成を行う。 第1分団 岩 国 6部 131名 第2分団 麻里布 6部 145名 第3分団 川 下 4部 89名 第4分団 愛 宕 3部 68名 第5分団 灘 3部 73名
昭和28年10月	消防署西出張所に消防ポンプ自動車（朋竜1号車）を購入、配備。
昭和30年3月3日	岩国米軍海軍航空基地との間に火災、災害時の相互援助協定締結。
昭和30年4月1日	隣村7か村合併時の消防力は職員52名、消防団は本部、岩国、麻里布、川下、愛宕、灘、小瀬、藤河、御庄、北河内、南河内、師木野、通津の12分団、人員総数1,033人となる。消防機械は消防署が水槽付ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、消防団が消防ポンプ自動車12台、手挽ガソリンポンプ1台、手押ポンプ1台、可搬式動力ポンプ41台となった。

昭和30年5月1日	大竹市、和木村との間に消防相互応援協定締結。
昭和30年12月19日	本署2個分隊とし消防ポンプ自動車（飛竜第1号車）を購入、配置。
昭和31年2月23日	岩国米国海軍航空基地との間に火災、災害時の相互援助協定締結。
昭和32年7月16日	大洋プロパン(株)より消防団へ消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。
昭和32年12月13日	大洋プロパン(株)より消防団へ消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。
昭和33年2月26日	岩国米国海兵隊航空施設との間に火災、災害時の相互援助協定締結。
昭和33年3月5日	岩国市内の電話の自動化に伴い火災の通報「119番」となる。
昭和33年4月14日	美川町との間に消防団相互応援協定締結。
昭和33年6月2日	西出張所用竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（天竜号第1号車）を購入、配備。
昭和33年12月1日	装束町に東出張所を開設。
昭和34年5月1日	美和町との間に消防相互応援協定締結。
昭和34年12月28日	東出張所に消防ポンプ自動車（京竜号第1号車）を購入、配備。
昭和35年5月7日	大竹市、和木村との間に消防相互応援協定締結。
昭和35年5月25日	日本損害保険協会より消防団へ消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。
昭和36年8月5日	定員改正により消防団員数を650名と改める。
昭和36年11月1日	柱島、麻里布分団より分離、柱島分団として独立、分団数13か分団編成とする。
昭和37年1月10日	ライオンズクラブより救急車の寄贈を受け本格的な救急業務を開始する。
昭和37年9月15日	消防庁舎完成（前庁舎）
昭和38年12月4日	水槽付消防ポンプ自動車（錦竜号第2号車）を購入、配備。
昭和40年5月1日	由宇町、玖珂町、周東町、美川町との間に消防相互応援協定締結。
昭和41年1月28日	ライオンズクラブ寄贈の救急車の代替えとして救急自動車を購入、配備。
昭和41年2月20日	大竹市との間に火災その他非常災害の防ぎよ鎮圧のための

	相互応援協定締結。
昭和41年9月1日	由宇町、玖珂町、周東町、美川町、美和町との間に消防相互応援協定締結。
昭和41年11月28日	石油コンビナート防災用として日本損害保険協会より化学車の寄贈を受ける。
昭和41年12月15日	本署配置の飛竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（飛竜号第2号車）を購入、配備。
昭和43年7月1日	合衆国海兵隊岩国航空基地との間に火災、災害時における相互援助協定締結。
昭和44年3月4日	西出張所天竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（天竜号第2号車）を購入、配備。
昭和44年12月25日	東出張所京竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（京竜号第2号車）を購入、配備。
昭和45年12月1日	岩国海上保安署との間に消防相互応援協定、救急業務に関する申合わせを締結。
昭和46年4月1日	消防現有勢力の内人員は職員数74名、団員数650名、消防機械器具は消防署水槽付消防ポンプ自動車1台、化学消防自動車1台、消防ポンプ自動車4台、可搬式動力ポンプ1台、救急車1台、消防団消防ポンプ自動車9台、可搬式動力ポンプ59台、可搬式運搬車18台となる。
昭和46年5月7日	大竹市との間に火災その他非常災害の防ぎよ鎮圧のための相互応援協定締結。
昭和46年12月1日	1本部、1署、2出張所、職員74名、消防団13か分団。
昭和48年3月31日	職員定数84名。
昭和48年4月1日	広域行政圏岩国地区消防組合設立。消防長事務部局の職員定数158名（実員105名）、西消防署、東出張所、南出張所、玖西出張所、玖北第1出張所、玖北第2出張所庁舎建設。屈折はしご付消防ポンプ自動車1台（旭竜号第1号車）、水槽付消防ポンプ自動車1台（臥竜号第1号車）、消防ポンプ自動車2台（海竜号第1号車、清竜号第1号車）、救急車5台、査察兼広報車3台、指揮車1台、司令車1台、小型動力ポンプ6台購入。
昭和48年11月30日	岩国地区消防組合及び消防組合を構成する市町村により岩国地区消防連絡協議会を設立。

昭和49年 3月25日	日本自動車工業会より救急車の寄贈を受け、玖北第2出張所へ配備。
昭和49年 4月 1日	岩国地区消防組合全面業務開始。 1本部、2署、5出張所、職員数152名。
昭和49年 7月 1日	職員数158名。
昭和49年 8月24日	特殊放射砲車、県より配備を受ける。
昭和49年 8月30日	日本船舶振興会より救急車の寄贈を受け、中央消防署へ配備。
昭和50年 3月22日	林野火災工作車を林野火災特別対策事業に基づき購入し、西消防署へ配備。
昭和50年 4月 1日	錦竜の代替えとして水槽付消防ポンプ自動車（錦竜号第3号車）を購入し、中央消防署へ配備。
昭和50年 5月 6日	日本損害保険協会より化学消防ポンプ自動車の寄贈決定。
昭和50年12月 6日	中央消防署に岩国消防特科隊（レンジャー隊）を編成、救助活動を開始した。
昭和51年 3月26日	日本損害保険協会より化学消防ポンプ自動車の寄贈を受け、中央消防署東出張所へ配備。
昭和52年 2月17日	飛竜の代替えとして消防ポンプ自動車（飛竜号第3号車）を購入し、中央消防署に配備。
昭和52年 4月 1日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数160名（実員159名）。
昭和52年 5月31日	査察兼広報車を購入し、中央消防署東出張所、南出張所、西消防署玖西出張所、玖北第1出張所、玖北第2出張所に配備。
昭和53年 1月21日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、西消防署へ配備。
昭和53年 2月 1日	山口県下石油コンビナートを擁する都市間（岩国地区消防組合、下松市、徳山市、新南陽市、宇部市、小野田市、下関地区広域行政事務組合）において、石油コンビナート等特別防災区域に係る消防相互応援協定締結。
昭和53年 6月 1日	岩国地区消防組合構成市町村（岩国市、和木町、由宇町、玖珂町、本郷村、周東町、錦町、美川町及び美和町）間において、消防相互応援協定締結。
昭和53年10月 1日	三瀬川婦人消防隊結成。

昭和53年11月 1 日	岩国地区消防組合消防庁舎の完成に伴い開庁式を挙 行した。(今津庁舎)
昭和53年11月10日	消防庁舎竣工式を挙 行。
昭和53年11月15日	火災時の問い合わせに答えるためテレフォ ンサービス業務(24-1000)を10回線 で開始した。
昭和53年11月30日	本部連絡車購入、総務課へ配 備。
昭和53年12月14日	山口県生命建物共済農協連より救急車 の寄贈を受け、南出張所へ配 備。
昭和54年 4 月 1 日	職員定数条例の改正により消防長事務部 局の職員定数180名(実員170名)。 。
昭和54年 4 月16日	岩国地区消防音楽隊を編成(33名)、訓 練を開始する。
昭和54年 8 月20日	救急車の予備車を改造し、16名乗 りの人員輸送車として、消防本部 へ配備。
昭和54年 8 月31日	西消防署天竜号の代替えとして普通消 防ポンプ自動車(天竜号第3号車) を購入し、配備。
昭和54年11月16日	西消防署玖北第1出張所へ消防ポン プ自動車(北竜号第1号車)を購 入、配備。
昭和54年11月29日	石油コンビナート防災対策用として、 大型高所放水車(30Mはしご付)、 大型化学車、泡原液搬送車からなる 3点セットを購入し、中央消防署 へ配備。
昭和55年 5 月20日	資器材搬送車を購入し、消防本部へ 配備。
昭和55年 8 月 7 日	牛野谷少年消防クラブ結成。
昭和55年11月19日	救急車の更新分として2台購入し、 中央消防署、玖北第2出張所へ 配備。
昭和55年11月23日	桧余地婦人消防隊結成。
昭和55年12月26日	岩国錦水ホテル互助会より消防音楽 隊制服並びに人工呼吸訓練用レ コーディングレサシアン(ノルウェ ー製)の寄贈を受けた。
昭和56年 2 月12日	日本損害保険協会より救急車の寄贈 を受け、玖北第1出張所へ配 備。
昭和56年 3 月26日	中央消防署東出張所京竜号の代替 えとして消防ポンプ自動車(京竜 号第3号車)を購入し、配備。
昭和56年 4 月 1 日	職員数168名。 門前少年消防クラブ結成。

	通津消防少年団結成。
昭和56年 9月17日	救急車の更新分として購入し、中央消防署東出張所へ配備。
昭和56年11月24日	昭和26年 8月 1日岩国市消防署設置以来30周年目にあたるのを記念して、市民館大ホールにおいて「岩国地区常備消防発足30周年記念式典」を挙行、約500名が参列、消防協力者として個人6名、企業5社を表彰した。また、式典席上歌詞を管内住民から公募して制定した生田恵子作詞、村井一郎補作詞、青木進作曲による「岩国地区消防歌」を消防音楽隊の演奏と合唱により初披露した。
昭和56年11月27日	救急車の更新分を購入し、西消防署玖西出張所へ配備。
昭和57年 4月 1日	職員数167名。
昭和57年10月25日	指令車の更新分を購入し、西消防署へ配備。 人員輸送車の更新分としてマイクロバス（26人乗り）を購入し、消防救急課へ配備。
昭和57年12月 2日	灘幼稚園幼児消防クラブ結成。
昭和58年 1月26日	アメリカ合衆国海兵隊岩国航空基地との間に、岩国市と合同で火災、災害時の消防相互援助協定締結。
昭和58年 3月 6日	岩国市民会館において「第1回地域住民と消防の集い」開催。消防救助訓練、職員体験意見発表、消防音楽隊定期演奏 職員演芸。参観者約1,100名。
昭和58年 3月26日	中央消防署南岩国分遣所庁舎竣工。
昭和58年 3月29日	愛宕少年消防クラブ結成。
昭和58年 5月20日	岩国錦ライオンズクラブから潜水用具2式を受納、中央消防署へ配備。
昭和58年 7月 1日	通津婦人消防隊結成。
昭和58年 8月27日	柱島婦人消防隊、黒島婦人消防隊結成。
昭和58年10月20日	あさひ保育園幼年消防クラブ結成。
昭和58年12月11日	由宇町婦人消防隊結成。
昭和59年 3月 4日	岩国市民会館において「第2回地域住民と消防の集い」開催。参観者約700名。
昭和59年 3月30日	救助工作車を購入し、中央消防署へ配備。
昭和59年 4月 1日	職員数171名。
昭和59年 6月15日	水難救助潜水隊が編成され、救助活動を開始した。
昭和59年 7月18日	査察車兼広報車の更新分を購入し、西消防署へ配備。

昭和59年 8 月 1 日	事務改善研究会発足。
昭和59年 9 月20日	財団法人日本消防協会より電源照明車の寄贈を受け、西消防署へ配備。
昭和59年10月31日	職員定年条例が制定され、昭和60年 3 月31日より施行。
昭和59年12月 1 日	広域圏内常備消防力充実整備計画に基づき、玖北第2出張所に消防ポンプ自動車（第2北竜号第1号車）配備。
昭和59年12月 5 日	財団法人日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、予防課へ配備。
昭和59年12月25日	錦竜の代替えとして水槽付消防ポンプ自動車（錦竜号第4号車）を購入し、中央消防署へ配備。
昭和60年 3 月 3 日	岩国市民会館において「第3回地域住民と消防の集い」開催。参観者数約1,100名。
昭和60年 4 月 1 日	職員数171名。
昭和60年 6 月19日	美和町内119番玖北第2出張所に移設。
昭和60年 7 月11日	圧縮空気充てん設備設置、運転開始。
昭和60年10月21日	本郷村、錦町、美川町内119番玖北第1出張所に移設。
昭和60年11月 3 日	消防職員OBとして錦生利介氏初の一類叙勲を受賞。
昭和60年12月 1 日	広域圏内常備消防力充実整備計画（第2年次）に基づき、西消防署玖北第1出張所錦機関員駐在所庁舎竣工、消防ポンプ自動車（第3北竜第1号車）配備。
昭和60年12月25日	南岩国分遣所南竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（南竜号第2号車）を購入し、配備。
昭和60年12月28日	ミニはしご消防車（ミニ昇竜）職員の手で誕生。
昭和61年 2 月25日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、西消防署へ配備。
昭和61年 3 月 2 日	岩国市民会館において「第4回地域住民と消防の集い」開催。参観者約1,000名。
昭和61年 4 月 1 日	職員数175名。
昭和61年12月 1 日	広域圏内常備消防力充実整備計画（第3年次）に基づき、西消防署玖西出張所玖珂機関員駐在所庁舎竣工、消防ポンプ自動車（第2清竜号第1号車）配備。
昭和61年12月25日	西消防署臥竜号の代替えとして水槽付消防ポンプ自動車（臥竜号第2号車）を購入し、配備。
昭和62年 1 月31日	指揮車の更新分を購入し、消防本部へ配備。

昭和62年 3月 1日	岩国市民会館において「第5回地域住民と消防の集い」開催。参観者1,350名。
昭和62年 3月27日	玖珂中央幼稚園幼年消防クラブ誕生。
昭和62年 4月 1日	職員数177名。
昭和62年 6月24日	坂上保育所幼年消防クラブ誕生。
昭和62年 7月 3日	美和保育所幼年消防クラブ誕生。
昭和62年11月20日	岩国錦ライオンズクラブより潜水器具の寄贈を受け、中央消防署へ配備。
昭和62年12月 1日	広域圏内常備消防力充実整備計画（最終年度）に基づき、西消防署玖北第2出張所本郷機関員駐在所庁舎竣工、消防ポンプ自動車（郷竜号第1号車）配備。
昭和62年12月16日	玖西出張所清竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（清竜号第2号車）を購入し、配備。
昭和63年 3月 6日	岩国市民会館において「第6回地域住民と消防の集い」開催。参観者1,300名。
昭和63年 3月23日	大竹市との間に、山陽自動車道における消防相互応援協定締結。
昭和63年 3月30日	中央消防署救助救出訓練塔設置。
昭和63年 4月 1日	職員数177名。
昭和63年 4月 8日	大竹市、岩国市、和木町、美和町との間において、消防相互応援協定締結。
昭和63年10月25日	岩国市より資器材搬送車の所管替を受け、消防本部へ配備。
昭和63年11月12日	岩国南幼稚園幼年消防クラブ誕生。
昭和63年12月27日	南出張所海竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（海竜号第2号車）を購入し、配備。
平成元年 1月25日	山之内製薬株式会社より救急車の寄贈を受け、中央消防署へ配備。
平成元年 3月 5日	岩国市民会館において「第7回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約1,380名。
平成元年 4月 1日	職員数177名。
平成元年 6月 6日	西消防署救助救出訓練塔設置。
平成元年12月 1日	阿品婦人消防隊結成。
平成2年 2月23日	国際ソロプチミスト岩国より救急車の寄贈を受け、中央消防署へ配備。

平成2年3月4日	岩国市民会館において「第8回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約1,450名。
平成2年3月26日	岩国桜ライオンズクラブより救急車の寄贈を受け、西消防署へ配備。
平成2年3月28日	東出張所化学車の代替えとして化学消防ポンプ自動車（第3号車）を購入、配備。
平成2年4月1日	職員数177名。
平成2年8月2日	岩国錦ライオンズクラブより潜水業務用資器材の寄贈を受け、中央消防署へ配備。
平成2年12月19日	中央消防署飛竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（飛竜号第4号車）を購入、配備。
平成3年2月25日	更新分として救急車を購入し、西消防署玖北第2出張所へ配備。
平成3年4月1日	職員数174名。
平成3年6月1日	火災救急専用ファクシミリを設置し、運用を開始。
平成3年10月24日	中央消防署昇竜号の代替えとしてはしご車兼用大型高所放水車（昇竜号第2号車）を購入し、配備。
平成3年12月24日	西消防署天竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（天竜号第4号車）を購入し、配備。
平成4年3月1日	岩国市民会館において「第9回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約1,140名。
平成4年3月31日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、西消防署玖北第1出張所に配属。
平成4年4月1日	職員数178名。
平成4年5月22日	更新分として指令車を購入し、中央消防署へ配備。更新分として指令兼広報車を購入し、中央消防署東出張所及び南出張所、西消防署玖西出張所、玖北第1出張所及び玖北第2出張所へ配備。
平成4年12月10日	西消防署玖北第1出張所北竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（北竜号第2号車）を購入し、配備。
平成5年2月28日	岩国市民会館において「第10回地域のみなさんと消防のつどい」開催。消防救助訓練、消防音楽隊定期演奏、地域住民と消防職員による演芸。参観者約1,120名。
平成5年3月31日	社団法人日本自動車工業会より救急車の寄贈を受け、中央

	消防署東出張所に配備。
平成5年4月1日	職員数177名。
平成5年7月15日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数196名。(実員177名)
平成5年9月9日	救急高度化に伴う救急資器材(8項目)を中央消防署に配備。
平成5年10月1日	財団法人日本消防協会より救急車の寄贈を受け、中央消防署南岩国分遣所に配備。
平成6年2月24日	ミニ救急車職員の手で誕生。
平成6年3月6日	岩国市民会館において「第11回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約1,150名。
平成6年3月23日	中央消防署東出張所京竜号の代替えとして消防ポンプ自動車(京竜号第4号車)を購入し、配備。
平成6年3月31日	社団法人日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受け、中央消防署へ配備。
平成6年4月1日	職員数187名。
平成6年7月1日	救急高度化に伴う救急資器材(8項目)を西消防署へ配備。
平成6年12月15日	高度救命処置用資器材を中央消防署に配備し、救急救命士による高度救急業務を開始。
平成7年1月17日	阪神・淡路大震災による被災者の救急・救助のため、救急車1台及び職員4名を山口県災害派遣隊として神戸市へ派遣。
平成7年3月14日	救急車の更新分を購入し、救急高度化に伴う救急資器材(8項目)を装備し、西消防署玖西出張所へ配備。
平成7年4月1日	職員数195名。
平成7年6月16日	錦ライオンズクラブより水中無線機一式の寄贈を受け、中央消防署へ配備。
平成8年3月2日	岩国市民会館において「第12回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約800名。
平成8年3月14日	高度救命処置用資器材を東出張所、南出張所、玖北第1出張所及び玖北第2出張所へ配備。
平成8年3月15日	S・K車の更新として、15m級梯子付消防ポンプ車を中央消防署へ配備。 救助活動用資器材として、化学防護服4着、300k型空気

	呼吸器4体を、中央署、西署へ2体ずつ配備。携帯型ガス検知器1台を中央消防署へ配備。また中央消防署救助用ゴムボートを更新。
平成8年4月1日	職員数194名。
平成8年8月8日	錦ライオンズクラブより水上スクーター及びドライスーツ等の寄贈を受け、中央消防署へ配備。
平成9年4月1日	職員数191名。 本部機構改革。広域整備対策室を廃止、消防救急課の名称を改め警防課とし、通信指令課を設置。
平成9年4月15日	緊急通信指令システムの導入に伴い管内119番受信の集中管理を実施。
平成9年10月17日	錦ライオンズクラブより船外機及びドライスーツ等の寄贈を受け、中央消防署へ配備。
平成9年10月23日	西消防署 指令車を更新し、配備。
平成9年11月19日	西消防署 玖北第2出張所第2北竜の代替えとしてCD-I型水槽付消防ポンプ車(第2北竜第2号車)を購入し配備。
平成10年3月1日	岩国市民会館において「第13回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約670名。
平成10年4月1日	職員数194名。
平成10年6月15日	消防本部予防課に防火相談所を開設。 「防火相談・安心ダイヤル」の名称でフリーダイヤル(0120-588-119)を設置。
平成10年10月6日	多目的搬送車を新規導入し、中央消防署へ配備。
平成11年3月1日	岩国市民会館において「第14回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約680名。
平成11年3月30日	中央消防署 大型化学車を更新し、配備。
平成11年3月31日	財団法人日本消防協会より救急車の寄贈を受け、西消防署に配備。
平成11年4月1日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数197名(実員197名)。うち女性消防官2名を採用。本部指令車及び西署査察兼広報車を更新し、配備。
平成11年10月18日	
平成12年2月21日	高規格救急自動車を新規導入し、玖北第1出張所に更新し、配備。
平成12年2月25日	岩国桜ライオンズクラブより応急手当普及推進車の寄贈を

	受け、警防課へ配備。
平成12年 3月 5日	岩国市民会館において「第15回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約800名。
平成12年 3月 9日	中央消防署 救助工作車（Ⅱ型）を更新し、配備。
平成12年 3月23日	国際ソロプチミスト岩国より救急車の寄贈を受け、南岩国分遣所へ配備。
平成12年 4月 1日	職員数197名。
平成12年12月 8日	中央消防署 泡原液搬送車を更新し、配備。
平成13年 2月 6日	西消防署玖北第2出張所救急車を更新し、配備。
平成13年 3月 4日	岩国市民会館において「第16回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約800名。
平成13年 3月23日	山手総合訓練場安全祈願祭・使用開始式。
平成13年 3月29日	中央消防署南岩国分遣所南竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（南竜号第3号車）を更新し、配備。
平成13年 4月 1日	職員数195名。
平成13年11月 4日	南岩国ショッピングセンター駐車場において、「消防フェスタ2001」を開催。消防音楽隊演奏・幼年消防クラブ演技、地域住民参加によるゲーム及び消火訓練。参加者約400名。
平成14年 1月18日	社団法人日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け西消防署玖北第1出張所錦機関員駐在所に更新配備。
平成14年 1月22日	西消防署水槽付消防ポンプ自動車（臥竜号第3号）を更新し配備。
平成14年 2月 1日	庁内LANの導入配備。
平成14年 4月 1日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数202名（実員196名）。
平成14年10月15日	和木幼稚園幼年消防クラブ結成。
平成14年11月 3日	和木町和木中学校グラウンドにおいて、「消防フェスタ2002」を開催。参加者約400名。
平成15年 4月 1日	職員数198名。
平成15年 8月 1日	eメール119番運用開始。
平成15年10月 1日	ひろせ保育所幼年消防クラブ結成。
平成15年11月16日	錦町広瀬高等学校グラウンドにおいて、「消防フェスタ2003」を開催。参加者約500名。
平成15年12月 4日	中央消防署南出張所（海竜号3号車）及び西消防署玖西出

	張所（清竜号第3号車）消防ポンプ自動車を更新配備するとともに、中央消防署東出張所に高規格救急自動車を配備。職員数198名。
平成16年4月1日	
平成16年4月12日	西消防署玖西出張所に高規格救急自動車を配備。
平成16年8月1日	加入電話をダイヤルイン方式に移行。
平成16年9月1日	消防音楽隊に岩国市職員7名入隊。
平成16年9月1日	由宇保育園幼年消防クラブ結成。
平成16年11月7日	南桑小中学校共用グラウンドにおいて、「消防フェスタ2004」を開催。参加者約500名。
平成16年12月1日	中央消防署高規格救急自動車を更新配備し、中央消防署南出張所に高規格救急自動車を配備。
平成17年2月16日	社団法人日本損害保険協会より高規格救急自動車の寄贈を受け西消防署に更新配備。
平成17年4月1日	職員数199名。
平成17年11月2日	周東幼稚園幼年消防クラブ結成。
平成17年12月19日	西消防署消防ポンプ自動車（天竜号）を更新配備。
平成18年1月20日	防火対象物管理システムの導入。
平成18年3月6日	(財)日本消防協会より指令車の交付を受け中央消防署に配備。
平成18年3月20日	組合構成市町村の内和木町を除く岩国市・由宇町・玖珂町・本郷村・周東町・錦町・美川町・美和町の合併により新「岩国市」が誕生。1市1町の枠組みとなる。
平成18年4月1日	職員数198名。
平成18年8月21日	西消防署玖西出張所・玖北第1出張所・玖北第2出張所に指令兼広報車を更新配備。
平成18年9月8日	予防課に防火広報車を更新配備。
平成18年10月31日	西消防署玖西出張所玖珂機関員駐在所消防ポンプ自動車（第2清竜号第2号車）更新配備。
平成19年3月26日	西消防署玖北第2出張所に高規格救急自動車を配備。
平成19年4月1日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数216名（実員201名）。
平成19年7月9日	中央消防署東出張所・南出張所に指令兼広報車を更新配備。
平成19年10月23日	西消防署玖北第2出張所本郷機関員駐在所消防ポンプ自動車（郷竜号第2号車）を更新配備。

平成19年11月27日	中央消防署南岩国分遣所に高規格救急自動車を配備。
平成20年4月1日	再任用制度を開始した。 職員数207名。
平成21年2月2日	中央消防署東出張所に消防ポンプ自動車(京竜号第5号車)を更新配備。
平成21年4月1日	職員数212名。
平成21年11月3日	横山吉香公園において、「消防フェスタ2009」を開催。参加者約2,000名。
平成21年12月21日	西消防署玖北第1出張所に消防ポンプ自動車(北竜号第3号車)を更新配備。
平成22年4月1日	職員数205名。
平成22年7月15日	山陽小野田市・下関市等において発生した大雨災害の被災者救助のため、山口県内広域消防相互応援協定に基づき、現地へ水難救助潜水隊を派遣。
平成22年10月3日	美川町小川、美川グラウンドにおいて、「消防フェスタ2010」を開催。参加者約300名。
平成23年1月18日	消防本部警防課へ資機材搬送車を更新配備。
平成23年2月4日	ISO対応上下型防火衣が全職員に貸与された。
平成23年2月9日	西消防署玖北第1出張所に高規格救急自動車を更新配備。
平成23年3月4日	(財)日本消防協会より指令車の交付を受け西消防署に配備。
平成23年3月7日	中央消防署東出張所に化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)(第4号車)を更新配備。
平成23年3月14日	東日本大震災による被災地(石巻市)に、山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊、救急小隊1隊、及び後方支援小隊1隊を派遣。
平成23年4月1日	職員数206名。
平成23年10月30日	美和町黒沢グラウンドにおいて、「消防フェスタ2011」を開催。参加者約500名。
平成24年4月1日	職員数210名。
平成24年6月20日	空気呼吸器用面体が現場活動に従事する隊員全員に個人貸与された。
平成24年11月18日	玖珂町、玖珂機関員駐在所前において、「消防フェスタ2012」を開催。参加者約18,000名。
平成25年2月21日	中央消防署に消防ポンプ自動車(飛竜号第5号車)を、西

	消防署玖西出張所に高規格救急自動車を更新配備。
平成25年4月1日	職員数214名。
平成25年6月24日	傷害事件現場等で起こりうる隊員の受傷を防止するための「防刃ベスト」を各高規格救急自動車に配備。
平成25年6月26日	感染防止対策としてオゾン水を利用する「オゾン水発生機器」を各署所に配備。
平成26年3月8日	周東パストラルホールで「消防フェスタ2013」を開催。参加者約180名。
平成26年3月26日	玖北第一出張所錦機関員駐在所落成式
平成26年4月1日	職員数213名。
平成26年11月9日	岩国市役所前で「消防フェスタ2014」を開催。
平成27年2月23日	中央消防署に40m級梯子付消防ポンプ自動車を、玖北第二出張所に消防ポンプ自動車を更新配備。
平成27年3月15日	岩国桜ライオンズクラブよりドライスーツ4式の寄贈を受け、中央消防署へ配備。
平成27年4月1日	職員数216名。
平成27年8月1日	警防課に応急手当推進車を更新配備。
平成28年2月18日	南出張所及び西消防署に高規格救急自動車を更新配備。
平成28年3月1日	消防本部・中央消防署・南岩国分遣所・西消防署が統合移転し、新庁舎「いわくに消防防災センター」が運用開始。組織の変革が行われ、新たに指揮隊を編成。
平成28年3月17日	中央消防署に査察兼広報車を更新配備。
平成28年3月25日	中央消防署に指揮隊車を新たに配備。
平成28年4月1日	職員数214名。
平成28年4月16日	熊本地震の被災地に、山口県緊急消防援助隊として消火小隊3隊、救急小隊2隊及び後方支援小隊1隊を派遣。
平成28年11月5日	いわくに消防防災センターで「救急フェアin2016」を開催。参加者400名。
平成29年4月1日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数230名（実員214名）。
平成29年4月16日	九州北部豪雨災害の被災地に、山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊、救急小隊1隊、後方支援小隊1隊を派遣。
平成29年8月28日	岩国、柳井、光3地区の各消防組合と広島市消防局が消防相互応援協定を締結。

平成29年9月8日

玖北第2出張所に高規格救急自動車を更新配備。

平成29年11月12日

岩国市地方卸売市場において「消防フェスタ2017」を開催。
参加者400名。

平成29年12月25日

中央消防署に15m級はしご付き消防ポンプ自動車を、錦機
関員駐在所に消防ポンプ自動車を更新配備。

4. 大火の歴史

岩 国 市

(1) 広家岩国移封後の大火

年 号	西 暦	月 日	藩 主	場 所 及 び 程 度
承応 元年	1652	8. 6	2代広正	川西の大火
〃 3年	1654	12.19	〃	錦見の大火229軒焼失、町家の残るもの30軒余り
寛文 8年	1668	12. 24	3代広嘉	錦見鉄砲小路火災42軒焼失
延宝 3年	1675	1.29	〃	今津船頭町火災42軒焼失
貞享 3年	1686	11.14	4代広紀	錦見鉄砲小路長久路小路96軒焼失
〃 4年	1687	12.24	〃	柱野大火40軒焼失
元禄 3年	1690	1.24	〃	通津浦火事
〃 4年	1691	11.26	〃	多田村35軒焼失
〃 9年	1696	2.24	〃	千石原火事多田共に50軒焼失
〃 16年	1703	6. 4	5代広達	今津大火119軒焼失
宝永 2年	1705	8.16	〃	川西の火事84軒焼失
〃 3年	1706	8.26	〃	和木村火事30軒焼失
〃 6年	1709	8.14	〃	今津新小路16軒焼失
〃 7年	1710	9.27	〃	今津川口火事75軒焼失
正徳 元年	1711	12.10	〃	錦見鉄砲小路より出火散畠延焼135軒焼失
〃 2年	1712		〃	今津川口番所焼失
享保 元年	1716	5.15	6代経永	今津火災15軒焼失
〃 〃	〃	6. 2	〃	多田八幡焼失
〃 2年	1717	12.27	〃	川西沖原火災12軒焼失
〃 〃	〃		〃	旧玖珂町本郷市（現在の本町）ことごとく焼失、代官所、明覚寺類焼
〃 3年	1718	12. 3	〃	川西火災33軒焼失
〃 5年	1720	4. 5	〃	寺谷了岳院焼失、この頃洞泉寺附近よりたびたび出火
〃 10年	1725	7. 5	〃	錦見火事家中屋敷90軒、豆腐町、魚町、町家60軒、西福寺、長久寺、本能寺焼失
〃 12年	1727	9.27	〃	錦見椎尾宮下より出火
〃 17年	1732	2. 5	〃	川西の火事、家中38軒、町方65軒、地方30軒焼失
〃 〃	〃	10. 7	〃	関戸火事40軒焼失
〃 〃	〃	11. 9	〃	川西火事、家中22軒、町方30軒、地方15軒焼失
〃 〃	〃	12.18	〃	今津火事、茶屋、川口役所、家中24軒、町方60軒、地方11軒焼失
〃 18年	1733	2.23	〃	御庄市火事23軒焼失
〃 〃	〃		〃	中津火事小家56軒焼失

年 号	西 曆	月 日	藩 主	場 所 及 び 程 度
享保 19年	1734	11.28	6代経永	錦見鉄砲小路火災10軒焼失
天文 2年	1737	10. 8	〃	錦見散島火災12軒焼失
寛保 2年	1742	4.15	〃	多田村火事28軒、通津村火事10軒焼失
〃 3年	1743	3. 5	〃	門前光福寺火災、民家 2 軒類焼
〃 〃	〃	4.	〃	人家50戸焼失（旧玖珂町）
〃 〃	〃	4.15	〃	多田火事諏訪神社外25軒焼失
延享 元年	1744	11.19	〃	向今津火災19軒焼失
寛延 元年	1748	8.22	〃	牛野谷愛宕社焼失
〃 2年	1749	2. 1	〃	関戸市62軒焼失
〃 3年	1750	10. 6	〃	錦見龍小路火事称念寺 8 軒焼失
宝歴 5年	1755	11.12	〃	横山 6 軒焼失
〃 11年	1761	2. 1	〃	関戸火事53軒焼失
〃 13年	1763	11.28	〃	向今津10数軒焼失
明和 3年	1766	12. 2	7代経倫	川西の火事、家中 5 軒、町方18軒、地方32軒焼失
〃 5年	1768	3.27	〃	紙蔵算用所火事
〃 〃	〃	10. 6	〃	錦見山北の松屋寺焼失
〃 6年	1769	12.24	〃	川西火事家中 3 軒焼失
〃 7年	1770	3. 8	〃	御庄村火事52軒焼失
安永 2年	1773	3.19	〃	川西火事、白岑院、観音院、現養院、蔵長屋など39戸焼失
〃 8年	1779	4. 6	〃	関戸73軒焼失
〃 9年	1780	1.6	〃	川西の火事22軒焼失
〃 〃	〃	8.19	〃	錦見火事、金正院及家中12軒、柳井町、米屋町27軒焼失
天明 4年	1784	3. 9	〃	錦見火事、国清類焼数軒、この頃放火頻々
寛政 2年	1790	3.7	〃	青木三軒屋火事
〃 3年	1791	12.28	〃	錦見新小路火事12軒焼失
〃 12年	1800	10.28	8代経忠	川西姉ヶ山火事10軒焼失
享和 2年	1802	4.4	〃	錦見新道 4 軒焼失
文化 2年	1805	10.24	9代経賢	今津大応寺焼失
〃 3年	1806	6.21	〃	中津火事16軒焼失
〃 6年	1807	12.19	〃	錦見ねんねこ谷の松屋寺焼失、尾津火事 5 軒焼失
〃 7年	1810	12.26	10代経礼	錦見橋本町 4 軒焼失
〃 8年	1811	3.27	〃	尾津村 5 軒焼失
〃 14年	1817	1.14	〃	川下の瘡瘡柱付近火事 4 軒焼失
〃 〃	〃	12.18	〃	東村火事48軒焼失、牛屋15軒焼失
文政 2年	1819	8.30	〃	港火事 5 軒焼失

年 号	西 曆	月 日	藩 主	場 所 及 び 程 度
文政 3年	1820	10.28	10代経礼	浦ヶ浜100余軒焼失
〃 9年	1826	11.19	〃	車村火事20余軒焼失
〃 〃	〃	11.26	〃	通津の浦火事50余軒焼失
〃 10年	1827	10. 6	〃	錦見小道火事12軒焼失
天保 7年	1836	2.20	〃	蔵元屋火事作事同屋敷類焼
寛永 4年	1851	10.25	12代経幹	木向頭辺火事36軒焼失
〃 5年	1852	9.30	〃	河原40数軒焼失
安政 2年	1855	3.25	〃	黒磯火事20軒焼失
文久 2年	1862	7.16	〃	中津村堀川より出火200余軒焼失
〃 3年	1863	12.29	〃	浦ヶ浜火事120軒焼失
慶応 2年	1866	1.28	〃	養老館焼失
明治 元年	1868	4.	13代経健	向今津火事、清誓寺焼失
〃 2年	1869		〃	岩国登富町火事正覚寺焼失

(2) 明治廃藩置県以後の大火

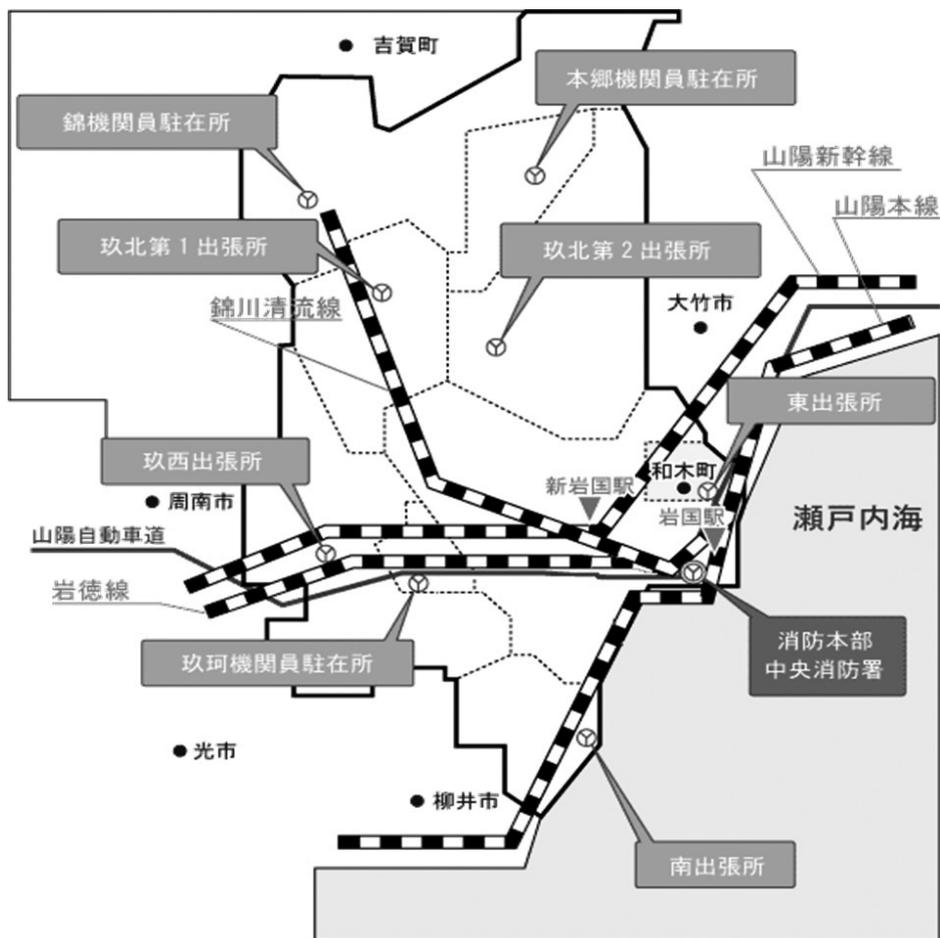
年 号	西 曆	月 日	場 所 及 び 程 度
明 治 23年	1890	10.26	横山白山神社の大火
〃 32年	1899	3.24	追原部落61戸全焼、死者3名（旧本郷村）
大 正 12年	1923	1. 6	銀座劇場焼失
〃 13年	1924	7.19	義済堂出火
昭 和 2年	1927	2. 2	浦ヶ浜大火110戸焼失
〃 9年	1934	4.15	柱島大火36戸焼失
〃 15年	1940	1.14	欽明路で山林4町歩、欽明寺及び民家5戸を焼失（旧玖珂町）
〃 〃	〃	12.	高森警察署全焼（旧周東町）
〃 20年	1945	5.10	陸軍燃料廠、興亜石油被爆
〃 〃	〃	7.27	尾津11空廠被爆
〃 〃	〃	8. 9	海軍航空隊被爆
〃 〃	〃	8.14	岩国駅付近一帯被爆全壊343戸、負傷859人、死者517人、行方不明130人
〃 22年	1947	7.13	岩国駅全焼
〃 〃	〃		阿山下で4軒焼失（旧玖珂町）
〃 25年	1950	3. 6	岩国セントラル名画劇場全焼
〃 26年	1951	12.	高森小学校全焼（旧周東町）
〃 27年	1952	2.18	藤生字青木火災10戸全焼
〃 28年	1953	3.25	藤生黒磯火災9戸全焼
〃 〃	〃	7.	中山山林火災（旧周東町）
〃 31年	1956	2.20	坂上駄床7戸全焼（旧美和町）
〃 43年	1968	4. 5	小瀬地区山林火災109ヘクタール焼失
〃 〃	〃	〃	旧由宇町南西側一円の林野火災256ヘクタール焼失
〃 44年	1969	3.23	宇佐郷向峠山林火災160ヘクタール焼失（旧錦町）
〃 45年	1970	3.31	岩国山周辺山林延焼火災196ヘクタール焼失
〃 46年	1971	1. 2	坂上東谷、国鉄車庫全焼（旧美和町）
〃 47年	1972	10.4	坂上渋前2戸全焼（旧美和町）
〃 49年	1974	1.29	賀見畑、生見3戸全焼（旧美和町）
〃 52年	1977	5.13	岩国病院火災、死者7人、負傷者5人
〃 58年	1983	4.26	海上自衛隊機（PS-1）墜落火災、死者10人、負傷者4人
〃 59年	1984	3. 5	三井石油化学工業(株)岩国大竹工場ハイドロキノン製造装置爆発火災
〃 63年	1988	12.6	旧玖珂町 山賊（公卿七厘）1棟全焼
平 成 2年	1990	2. 9	川下町建物火災1棟全焼、2棟部分焼、死者（子供）3名
〃 11年	1999	7.11	旧錦町広瀬建物火災 全焼6棟、部分焼4棟
〃 13年	2001	4.13	旧玖珂町谷津地区林野火災13ヘクタール焼損
〃 15年	2003	4.25	旧錦町広瀬（松本食堂）建物火災 全焼2棟、半焼1棟、部分焼2棟 死者2名、負傷者2名

年 号	西 曆	月 日	場 所 及 び 程 度
平 成 24年	2012	4.22	三井化学株式会社岩国大竹工場レゾルシン製造プラント爆発火災 死者1名
〃 25年	2013	4.10	玖珂町山賊（桃李庵別館）建物火災 2棟全焼、1棟部分焼 山林2.89ヘクタール焼損
〃 〃	〃	4.21	周東町祖生建物火災 2棟全焼、2棟半焼 死者1名、負傷者2名
〃 〃	〃	11.7	麻里布町高層建物火災 死者1名
〃 26年	2014	6.14	車町建物火災 1棟部分焼、死者1名
		7.8	岩国建物火災 1棟全焼、1棟部分焼、1棟ぼや、死者1名
〃 27年	2015	5.5	山陽自動車道下り欽明路トンネル内車両火災 大型貨物自動車2台焼損

5. 歴代消防長

代	氏名	在任期間	備考
初代	木村 智	昭和23年9月～昭和27年3月	市長事務取扱 助役事務取扱
2代	久能 寅夫	昭和27年3月～昭和29年3月	
3代	沖村 義男	昭和29年4月～昭和30年4月	
		昭和30年5月～昭和32年8月	
4代	錦生 利介	昭和32年9月～昭和47年8月	
5代	竹林 佑二	昭和47年9月～昭和48年3月	
組合初代	竹林 佑二	昭和48年4月～昭和49年9月	
2代	土井 英雄	昭和49年10月～昭和50年5月	
3代	歓喜 治朗	昭和50年5月～昭和53年10月	
4代	片桐 均	昭和53年10月～昭和55年3月	
5代	上村 年美	昭和55年4月～昭和59年3月	
6代	山本 久雄	昭和59年4月～昭和62年3月	
7代	村井 一生	昭和62年4月～平成元年3月	
8代	村岡 昌	平成元年4月～平成3年3月	
9代	石崎 統将	平成3年4月～平成7年3月	
10代	河村 偉真雄	平成7年4月～平成10年3月	
11代	佐郷 学	平成10年4月～平成12年3月	
12代	松永 正義	平成12年4月～平成13年3月	
13代	河重 兼生	平成13年4月～平成14年3月	
14代	中村 政勝	平成14年4月～平成16年3月	
15代	好本 光雄	平成16年4月～平成18年3月	
16代	越智 拓郎	平成18年4月～平成21年3月	
17代	野上 悦生	平成21年4月～平成23年3月	
18代	柏本 秀則	平成23年4月～平成24年3月	
19代	藤本 博己	平成24年4月～平成26年3月	
20代	國清 宏	平成26年4月～現在に至る	

6. 消防本部、消防署、出張所、機関員駐在所の分布図



7. 管内状況

区分	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
岩国市	873.72	138,378	66,215
和木町	10.58	6,518	2,820
計	884.3	144,896	69,035

区分	平成28年度地方財政状況調査表による						
	一般会計歳入決算額 (千円)	一般会計歳出決算額 A (千円)	消 防 費 額 B 決算額 (千円)	B / A (%)	財政力指数	基準財政需要額 (千円)	左の内消防費基準財政需要額 (千円)
岩国市	73,800,807	71,909,720	2,501,973	3.50	0.6	27,896,199	1,793,287
和木町	4,572,614	4,409,213	222,415	5.04	0.7	1,749,144	228,158

8. 消防相互応援協定等締結状況

協定名	協定先	締結年月日
山陽自動車道消防相互応援に関する協定書	・大竹市	昭和 63 年 3 月 29 日
消防相互応援に関する協定書	・廿日市市	平成 19 年 12 月 1 日
	・大竹市 ・和木町 ・岩国市	平成 20 年 2 月 12 日
岩国海上保安署と岩国地区消防組合における消防相互応援協定	・岩国海上保安署	平成 10 年 4 月 9 日
救急救助業務等に関する覚書		
岩国市及び岩国地区消防組合とアメリカ合衆国海兵隊岩国航空基地との間の消防相互応援協定	・岩国市 ・アメリカ合衆国海兵隊 岩国航空基地	平成 14 年 3 月 28 日
石油コンビナート等特別防災区域に係る消防相互応援協定	・下松市 ・周南市 ・宇部・山陽小野田消防局 ・下関市	平成 24 年 4 月 1 日
「母体・新生児搬送マニュアル」に係る救急業務相互応援協定	・下関市 ・山口市 ・宇部・山陽小野田消防局 ・柳井地区広域消防組合 ほか 8 機関	平成 24 年 4 月 1 日
山口県消防防災ヘリコプター応援協定	・山口県知事 ・県下各市町 ・県下各消防本部	平成 24 年 4 月 1 日
中国自動車道及び山陽自動車道における消防相互応援協定書	・光市 ・光地区消防組合 ・周南市 ・岩国市ほか 9 機関	平成 24 年 4 月 1 日
山口県内広域消防相互応援協定書	・県下各市町 ・県下各消防本部	平成 24 年 4 月 1 日
中国自動車道における消防相互応援協定	・益田広域消防本部 ・広島市 ・周南市	平成 19 年 3 月 29 日
岩国空港における航空機事故に対する消火救難活動に関する協定	・岩国地区消防組合 ・大阪航空局	平成 24 年 6 月 20 日
エボラ出血熱患者の移送に関する協定書	・山口県岩国環境保健所	平成 27 年 6 月 22 日
広島市及び岩国地区消防組合消防相互応援協定	・広島市	平成 29 年 8 月 28 日

※ 締結年月日は、最新の年月日を記載

9. 平成29年中の主要行事

月 日	行 事	月 日	行 事
1.4	事務始め式	5.28	山口県総合防災訓練（下関市）
1.8	岩国市消防出初式 和木町消防出初式	5.31	岩国地区消防組合議会臨時会
1.11	公平委員会	6.2	第27回 山口県危険物安全大会（光市）
1.25	山口県消防クラブ連合会会長表彰伝達式	6.18	危険物取扱者試験（前期）
1.26	文化財防火デーに伴う消防訓練	6.22	山口県危険物安全協会連合会 平成29年度通常総会
2.1	消防本部（局）予防・危険物担当課長会議（山口市）	6.25	新入団員教養訓練（岩国地区消防連絡協議会）
2.3	周防都市消防長研修会（光市）	6.26	花火大会主催者向け説明会（煙火・露店）
2.13	広島県及び山口県石油コンビナート等防災本部協議会幹事会	6.28	第44回 山口県消防救助技術大会（山口市）
2.15	山口県消防長会議（山口市）	6.29	前期防火管理講習会 ～ 6/30
2.17	岩国地区消防組合議会定例会	7.1	有人離島防災訓練（岩国市端島）
3.1	春季全国火災予防運動 ～ 3/7 一日消防隊員委嘱 3/5、3/7	7.9	合同就職説明会 7/16、7/24
3.16	山口県消防表彰式（山口市）	7.14	公平委員会
3.31	岩国地区消防組合退職者辞令交付式 退庁式	7.19	第46回中国地区消防救助技術指導会（岡山市） *参加辞退
4.3	辞令交付式	7.24	岩国地区防火委員会
4.7	第66期消防職員初任総合教育入校式（山口市） 第1回山口県消防学校教育運営委員会 山口県消防長会春季定例会議（山口市）	7.26	危険物取扱者保安講習 ～ 7/27
4.14	公平委員会	8.2	中国五県消防関係者大会（鳥取県米子市）
4.18	岩国地区防災協会役員会	8.5	岩国地区化学消火剤共同備蓄会会議
4.21	岩国地区消防連絡協議会	8.8	危険物取扱者保安講習
4.23	少年消防クラブ新任式（通津少年消防クラブ）	8.10	岩国地区化学消火剤共同備蓄会会議
4.27	全国消防長会中国支部総会（鳥根県松江市） ～ 4/28	8.23	危険物取扱者保安講習 ～ 8/24
5.23	第69回全国消防長会総会（名古屋市） ～ 5/24	8.28	広島市及び岩国地区消防組合消防相互応援協 定調印式
5.25	岩国地区防災協会総会	9.1	「防災の日」パレード
5.26	第45回 防火さつき展 ～ 5/28	9.4	消防協力者感謝状贈呈式
		9.5	危険物取扱者保安講習 一日救急隊員委嘱
		9.8	車両配備式（玖北第2出張所 救急車）
		9.12	消防職員委員会

月 日	行 事	月 日	行 事
9.17	消防職員採用試験	12. 5	岩国港テロ対策合同訓練
9.28	後期防火管理講習会 ～ 9/29	12.15	岩国地区消防連絡協議会 定例会
10.2	公平委員会 中央消防署警防技術発表会 ～ 10/4	12.22	クリスマスみにコンサート
10.6	山口県消防長会秋季定例会議（下松市） 山口県消防殉職者慰霊祭（山口市） 全国消防長会中国支部人事庶務担当課長会議（岩国市）	12.25	車両配備式 （15mはしご付消防ポンプ自動車） （錦機関員駐在所消防ポンプ自動車）
10.14	和木町総合防災訓練	12.28	事務納め式
10.18	山口県消防職員昇任試験（柳井市）		
10.19	全国消防長会危険物委員会（熊本県） ～ 10/20		
10.20	中国四国緊急消防援助隊合同訓練（島根県） ～ 10/21 消防署合同防災訓練（東洋紡株式会社岩国事業所）		
10.25	岩国地区消防組合協議会定例会		
10.26	消防職員採用試験（二次試験）		
10.27	全国消防長会中国支部警防主管課長会議（周南市） 定期監査		
10.31	危険物取扱者試験準備講習（法令） 岩国・大竹地区特別防災区域協議会防災訓練		
11.1	全国消防長会中国支部秋季役員会・消防長研修会 危険物取扱者試験準備講習（理化学）		
11.2	東部地域MC協議会		
11.7	一日消防長委嘱（ミス岩国） 岩国国際観光ホテル消防訓練 J X T G エネルギー(株) 総合防災訓練		
11.9	秋季全国火災予防運動 ～ 11/15		
11.10	山口県石油コンビナート等総合防災訓練（下松市）		
11.12	消防フェスタ 2017		
11.14	第66期消防職員初任総合教育卒業式（山口市）		
11.20	第2回山口県消防学校教育運営委員会 第2回山口県消防吏員昇任試験委員会		
11.28	岩国地区防災協会役員会		

10. 平成29年岩国地区消防組合五大ニュース

1 「九州北部豪雨」に伴う緊急消防援助隊派遣

平成29年7月5日から6日にかけて、対馬海峡付近に停滞した梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響により、福岡県朝倉市や大分県日田市等で記録的な大雨となり、河川の氾濫や土砂崩れ、集落の孤立が発生するなど甚大な被害をもたらした。

総務省消防庁から山口県内12消防本部に、緊急消防援助隊の出動要請があり、岩国地区消防組合からは、消火小隊1隊、救急小隊1隊、後方支援小隊1隊が出動、7月6日から7月20日までの15日間、延べ19隊65名が救援活動を行い、福岡県朝倉郡東峰村で被害状況の確認及び被災者の安否確認、朝倉市では行方不明者の搜索活動や救急業務を実施した。

近年、全国各地において局地的な大雨や豪雨が頻繁に発生していることから、当消防組合としても被害を最小限に抑えるため消防活動体制の充実強化を図ることはもちろん、住民の安心・安全を確保できるよう消防力の更なる強化を図っていきたい。

2 新たな消防相互応援協定の締結

平成29年8月28日、当消防組合と柳井地区広域消防組合、光地区消防組合は、広島市消防局と「広島広域都市圏」の取り組みの一環として、災害発生時に県境を越え、より円滑な応援を行うことができるよう、「消防相互応援協定」を締結した。地域間の広域連携を促進する「連携中枢都市圏制度」を背景に消防相互応援協定を締結した例は全国初となる。

今後この協定により、国を通じて緊急消防援助隊を要請するような大規模な災害でなくとも、必要があれば直接応援要請できるようになり、人員派遣だけでなく、当消防組合が保有するコンビナート火災に有効な3点セット（大型化学車、泡原液搬送車、大型高所放水車）、広島市消防局が保有するトンネル火災等で効果的な排煙を行う特別高度工作車など、災害対応特殊車両の円滑な相互利用が期待される。

3 消防力の充実強化

平成29年、中央消防署に15m級はしご付き消防ポンプ自動車、玖北第2出張所に高規格救急車、玖北第1出張所錦機関員駐在所に消防ポンプ自動車が更新配備された。

15m級はしご付き消防ポンプ自動車の更新は、21年ぶり、大型はしご車よりも小型で小回りが利くため、繁華街や比較的狭隘な道路にも進入でき、最新鋭の電動放水銃と伸縮水路管装置が装備されたことで中高層建物での火災や人命救助において迅速でスムーズな活動が可能となった。

また、消防ポンプ自動車には乗用型の電動ホースカー、高規格救急車には軽量化された自動

心臓マッサージ器が導入され、地域の特性に応じた装備の充実強化が図られた。

今後とも各種災害に対応できるよう、迅速かつ柔軟に消防力の強化に取り組んでいきたい。

4 女性職員の雇用促進と活躍に向けた取り組み

平成27年9月に女性活躍推進法が施行されて以降、全国の消防本部で女性が働きやすい職場環境づくりと女性の雇用促進に向けた取り組みが強化されている。平成29年に採用された県内の女性消防職員は6名（うち1名が岩国消防）で、山口県消防学校で行われる7ヶ月間の教育期間では、女性職員が初の学生代表を務めるなどの活躍を見せている。女性の活躍を組織的に推進することは、多様な視点でものごとを捉えることができ、地域の多様なニーズに対応できる柔軟性をもたらすことが期待される。

当消防組合全体での女性割合は平成29年の4月現在3.7%で、この数値は全国的には低くはないが、警察や自衛隊などと比較すると遅れをとっている。当消防組合では女性の活躍に関する状況把握や課題分析を行い、今後さらに女性消防職員の割合を計画的に増やし、意欲と能力に応じた人事配置や適正な昇任等、女性消防職員の職域拡大を推進していくとともに組織の活性化、組織力の強化、士気の向上を図っていく。

5 玖珂・周東地域に新たな消防防災拠点

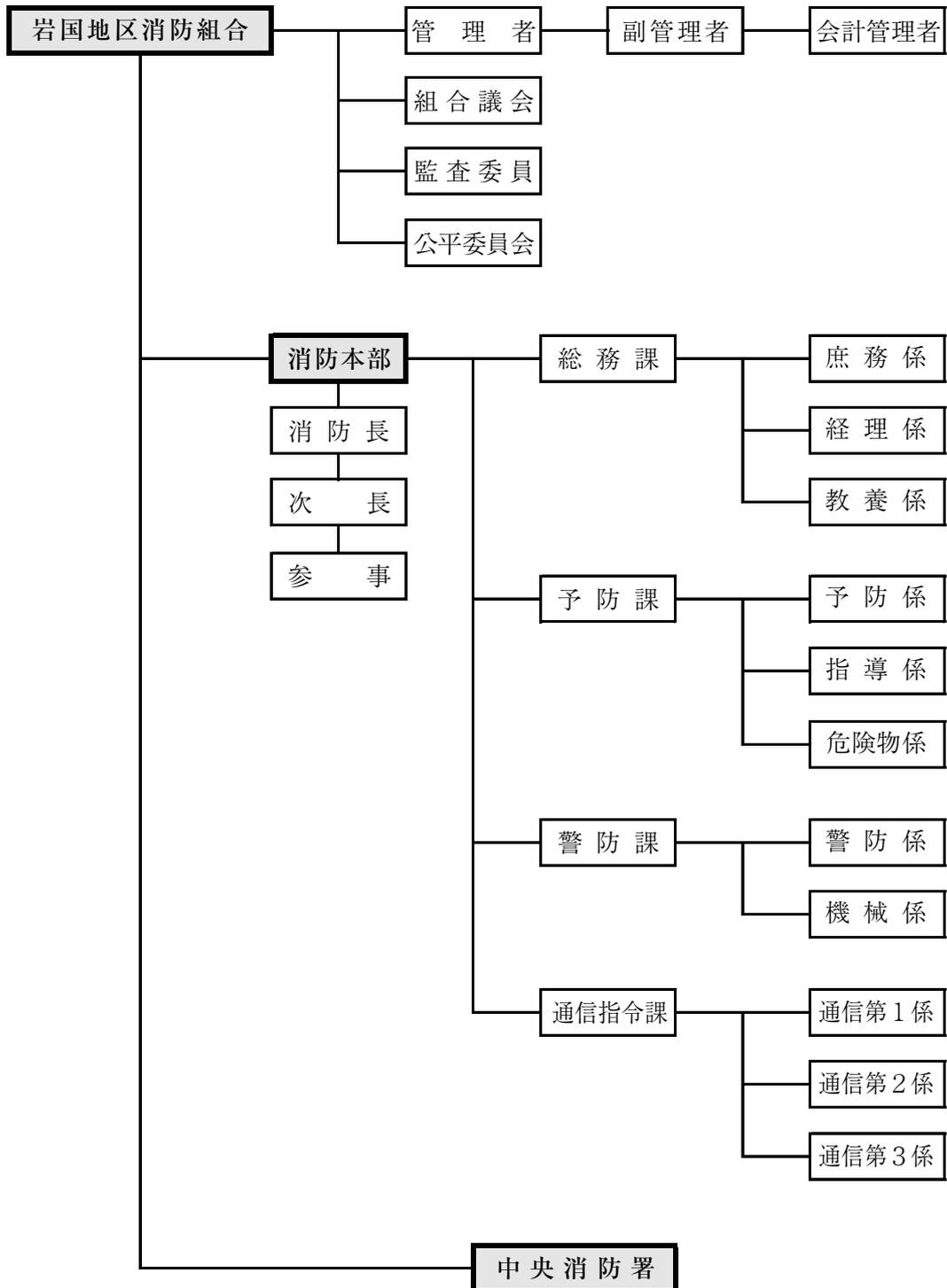
中央消防署玖西出張所と玖珂機関員駐在所の2消防庁舎を玖珂町に統合移転する計画が進められている。新消防庁舎となる中央消防署西分署は、約5,300㎡の敷地に、地上2階建ての庁舎と訓練塔を整備し、平成31年度末の完成を目指している。

統合する庁舎には、救急車を2台、消防ポンプ自動車とタンク車をそれぞれ1台配備し、当直職員を現在の7名から10名体制とすることで、同時発生した救急事案にも迅速に対応することが可能となる。それに伴い平成29年4月に職員定数を現在の216名から230名に増員している。新たな消防防災拠点を整備することで、消防力のさらなる充実強化が期待される。

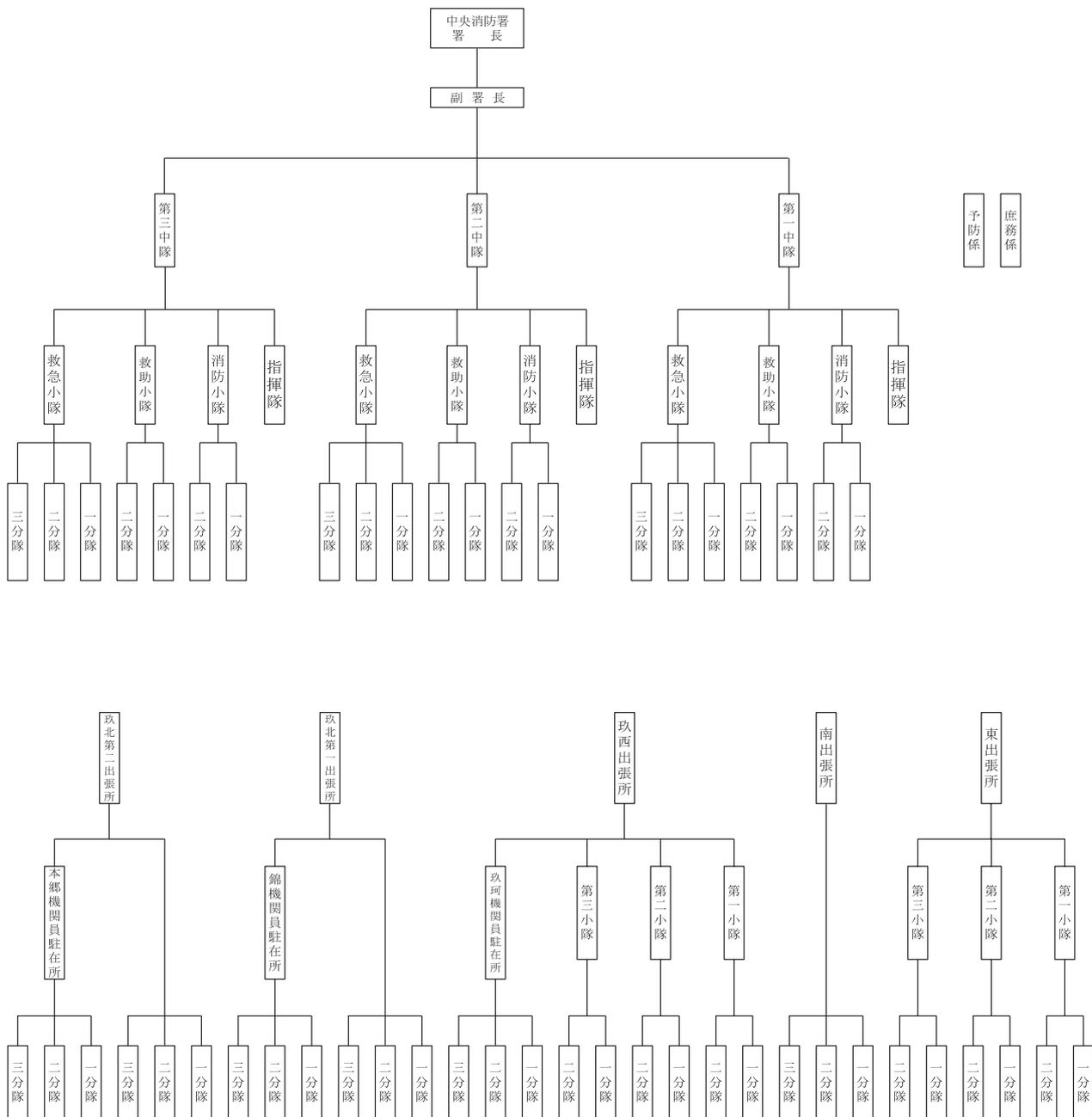
Ⅱ 総 務

1. 組 織

(1) 岩国地区消防組合の組織



(2) 消防署の組織



2. 事務分掌

消 防 本 部

総 務 課

庶 務 係

- (1) 公告式に関する事。
- (2) 組合議会に関する事。
- (3) 監査委員事務に関する事。
- (4) 公平委員会に関する事。
- (5) 公印に関する事。
- (6) 条例、規則及び訓令に関する事。
- (7) 文書の受発及び保存に関する事。
- (8) 各課・署起案文の審査に関する事。
- (9) 組織及び機構に関する事。
- (10) 職員の人事に関する事。
- (11) 職員採用試験委員会に関する事。
- (12) 職員の階級、任免及び人事評価に関する事。
- (13) 事務引継に関する事。
- (14) 職員の分限、懲戒及び服務に関する事。
- (15) 儀式及び交際に関する事。
- (16) 職員表彰及び消防協力者表彰並びに職員表彰委員会及び表彰審査委員会等に関する事。
- (17) 消防事務の改善に関する事。
- (18) 消防本部、署及び関係団体の連絡調整に関する事。
- (19) 市町村職員共済組合に関する事。
- (20) 職員の公務災害に関する事。
- (21) 職員の福利及び厚生に関する事。
- (22) 職員の健康管理及び衛生管理に関する事。
- (23) 消防職員委員会に関する事。
- (24) 消防音楽隊の派遣に関する事。
- (25) 消防行政についての広報に関する事。
- (26) 庁舎の管理及び構内の取締りに関する事。
- (27) 消防長会及び消防協会に関する事。
- (28) 広域常備消防力の充実整備に関する事。
- (29) 総合計画の策定に関する事。
- (30) 岩国地区消防連絡協議会に関する事。

- (31) 他の課に属さないこと及びその他課主管の庶務に関する事。

経 理 係

- (1) 予算編成及び執行の調整に関する事。
- (2) 決算に関する事。
- (3) 職員の給与に関する事。
- (4) 諸収入及び支出に関する事。
- (5) 物品の購入及び出納保管に関する事。
- (6) 財産及び備品の取得、管理及び処分の手続等に関する事。
- (7) 事務用機器の維持整備に関する事。
- (8) 職員の給貸与品に関する事。
- (9) 公務旅行及び旅費に関する事。
- (10) 源泉徴収及び特別徴収に関する事。
- (11) 財務の公表に関する事。
- (12) 補助金及び組合債に関する事。
- (13) 公有財産及び自動車等の保険に関する事。
- (14) 寄贈要望及び寄附採納に関する事。
- (15) 行政財産の目的外使用許可に関する事。

教 養 係

- (1) 職員の研修及び教養に関する事。
- (2) 職員の服務規律に関する事。
- (3) 消防学校、消防大学校及び救急救命研修所等の入校・入所に関する事。
- (4) 職場環境の改善に関する事。

予 防 課

予 防 係

- (1) 火災予防のための査察及び指導に関する事。
- (2) 消防用設備等の審査及び検証に関する事。
- (3) 防火管理者及び防災管理者等の講習に関する事。
- (4) 建築物の同意事務に関する事。
- (5) 建築物の検査に関する事。
- (6) 防火対象物管理システムの管理運用に関する事。
- (7) 液化石油ガス設備工事届及び検査に関する事。
- (8) 防火対象物等の統計事務に関する事。
- (9) その他課主管の庶務に関する事。

指 導 係

- (1) 火災予防思想の普及及び宣伝に関すること。
- (2) 災害予防対策及び防火指導に関すること。
- (3) 岩国地区防火委員会に関すること。
- (4) 岩国地区防災協会に関すること。
- (5) 化学消火薬剤の共同備蓄に関すること。
- (6) 危険物取扱者及び消防設備士等の試験及び講習に関すること。
- (7) 防火相談に関すること。

危 険 物 係

- (1) 危険物関係施設の許認可事務に関すること。
- (2) 危険物関係施設の検査、指導並びに違反処理に関すること。
- (3) 危険物関係施設に係る災害の事故処理及び事例研究に関すること。
- (4) 危険物等の統計事務に関すること。
- (5) 危険物台帳の整備保管並びに危険物管理システムの管理運用に関すること。
- (6) 少量危険物（ミニローリー）の届出及び検査に関すること。
- (7) 石災法に基づく新設等の届出及び検査に関すること。
- (8) 石油コンビナート等特定事業所の検査、指導並びに違反処理に関すること。
- (9) 石油コンビナート等特定事業所の災害の事故処理に関すること。
- (10) 特定事業所台帳の整備保管に関すること。
- (11) 火薬類の許認可事務に関すること。
- (12) 火薬庫等の保安検査に関すること。
- (13) 火薬類製造業者等の施設の立入検査及び違反処理に関すること。

警 防 課

警 防 係

- (1) 火災、救急及び救助対策に関すること。
- (2) 地水利に関すること。
- (3) 警防計画に関すること。
- (4) 非常招集に関すること。
- (5) 消防訓練及び各種演習に関すること。
- (6) 自衛消防隊に関すること。
- (7) 科学消防の研究に関すること。
- (8) 火災の調査技術の研究に関すること。
- (9) 水火災原因及び損害調査に関すること。
- (10) 医療機関等との連絡調整に関すること。

- (11) 消防統計に関すること。
- (12) 火災及び救急・救助業務の報告に関すること。
- (13) 開発行為に伴う消防同意事務に関すること。
- (14) 応急手当普及啓発活動に伴う講習及び資格認定に関すること。
- (15) 安全管理に関すること。
- (16) 応援協定に関すること。
- (17) 地域防災計画及び石油コンビナート防災計画等に関すること。
- (18) その他課主管の庶務に関すること。

機 械 係

- (1) 消防施設の強化拡充及び保全に関すること。
- (2) 消防機械器具の整備、保全並びに補充に関すること。
- (3) 消防自動車運転その他技能向上に関すること。
- (4) 消防機械器具の運用に関すること。
- (5) 消防業務用燃料に関すること。
- (6) 消防団及び自衛消防隊の機械器具操作の指導に関すること。
- (7) 環境衛生委託業務の監督及び報告に関すること。

通信指令課

通信第1係・通信第2係・通信第3係

- (1) 消防隊、救急隊及び救助隊等の管制及び指令に関すること。
- (2) 消防通信の統制及び技術指導に関すること。
- (3) 通信施設の維持管理に関すること。
- (4) 通信施設の検査及び試験に関すること。
- (5) 通信施設の修理、改善及び研究に関すること。
- (6) 災害出動計画に関すること。
- (7) 気象情報に関すること。
- (8) 火災の警報に関すること。
- (9) 情報収集、記録及び統計に関すること。
- (10) 医療機関等の情報に関すること。
- (11) テレガイドによる情報提供に関すること。
- (12) その他通信指令業務及び課の庶務に関すること。

消 防 署

庶 務 係

- (1) 公印の管守に関する事。
- (2) 文書の受発及び保存に関する事。
- (3) 署員の配置及び服務に関する事。
- (4) 署員の勤務、規律及び教養訓練に関する事。
- (5) 署員の福利、厚生に関する事。
- (6) 庁舎の維持管理並びに備品及び消耗品の出納保管に関する事。
- (7) 火災及び救急等の証明に関する事。
- (8) 火災証明等に関する事。
- (9) 署内事務の連絡調整に関する事。
- (10) 諸統計に関する事。
- (11) 署員の招集に関する事。
- (12) その他署主管の庶務に関する事。

予 防 係

- (1) 火災予防思想の普及、宣伝に関する事。
- (2) 火災予防のための査察、指導に関する事。
- (3) 消防用設備等の効力及び研究に関する事。
- (4) 防火管理者及び消防設備士の指導に関する事。
- (5) 建築物の同意事務に関する事。
- (6) 建築物の検査に関する事。
- (7) 防火対象物関係台帳の整備保管に関する事。

中 隊 (第 1 中 隊、第 2 中 隊、第 3 中 隊)

- (1) 災害の警戒防ぎよに関する事。
- (2) 救急・救助業務に関する事。
- (3) 消防計画に関する事。
- (4) 消防地水利の調査及び消防用水利の保全に関する事。
- (5) 災害の原因及び損害調査並びに報告に関する事。
- (6) 消防訓練の指導に関する事。
- (7) 消防演習及び訓練の計画立案に関する事。
- (8) 消防及び救急機械器具の運用に関する事。
- (9) 防火指導に関する事。
- (10) 予防査察に関する事。
- (11) 消防用設備等の設置指導に関する事。

- (12) 消防団の訓練指導に関する事。
- (13) 液化石油ガス施設の火災予防に関する事。
- (14) 消防関係法令に基づく各種届出に関する事。
- (15) 建築物の同意事務等に関する事。

出張所

- (1) 出張所の庶務に関する事。
- (2) 出張所の庁舎の維持管理並びに備品及び消耗品の出納保管に関する事。
- (3) その他の分掌事務は、中隊に準ずる事。

機関員駐在所

- (1) 機関員駐在所の庶務に関する事。
- (2) 機関員駐在所の庁舎の維持管理並びに備品及び消耗品の出納保管に関する事。
- (3) その他の分掌事務は、中隊に準じる。

3. 予 算（当初予算）

（単位 千円）

款 項	目	節	平成29年度	平成28年度	増 減
1	議 会 費		1,718	1,718	0
2	総 務 費		3,133	2,654	479
	総務管理費		2,864	2,385	479
	監査委員費		108	108	0
	公平委員会費		161	161	0
3	消 防 費		1,988,576	2,000,173	△ 11,597
	常備消防費		1,875,401	1,832,110	43,291
		給 料	743,559	723,135	20,424
		職 員 手 当 等	634,977	629,228	5,749
		共 済 費	270,383	278,575	△ 8,192
		災 害 補 償 費	3,034	2,536	498
		賃 金	1,426	1,426	0
		報 償 費	1,020	919	101
		旅 費	2,952	3,093	△ 141
		需 用 費	87,141	86,596	545
		役 務 費	26,958	28,158	△ 1,200
		委 託 料	80,856	49,696	31,160
		使用料及び賃借料	6,109	5,660	449
		原 材 料 費	1	1	0
		備 品 購 入 費	5,768	5,810	△ 42
		負担金補助及び交付金	9,864	15,711	△ 5,847
		補償補填及び賠償金	1	1	0
		積 立 金	30	31	△ 1
		公 課 費	1,322	1,534	△ 212
	消防施設費		113,175	168,063	△ 54,888
		需 用 費	1,000	1,000	0
		委 託 料	10,223	2,748	7,475
		工 事 請 負 費	12,983	53,975	△ 40,992
		原 材 料 費	200	200	0
		備 品 購 入 費	88,769	110,140	△ 21,371
4	公 債 費		64,894	52,356	12,538
5	予 備 費		5,000	5,000	0
	計		2,063,321	2,061,901	1,420

4. 職員の採用試験状況

区分 年	消 防 吏 員			事 務 職 員		
	応募者数	合格者数	倍 率	応募者数	合格者数	倍 率
平成20年	75	15	5.0			
平成21年	99	15	6.6			
平成22年	109	15	7.3			
平成23年	87	14	6.2			
平成24年	86	11	7.8			
平成25年	90	10	9.0			
平成26年	75	11	6.8			
平成27年	86	11	7.8			
平成28年	61	5	12.2			
平成29年	82	13	6.3			

※ 応募者については、試験当日の欠席者を含む。

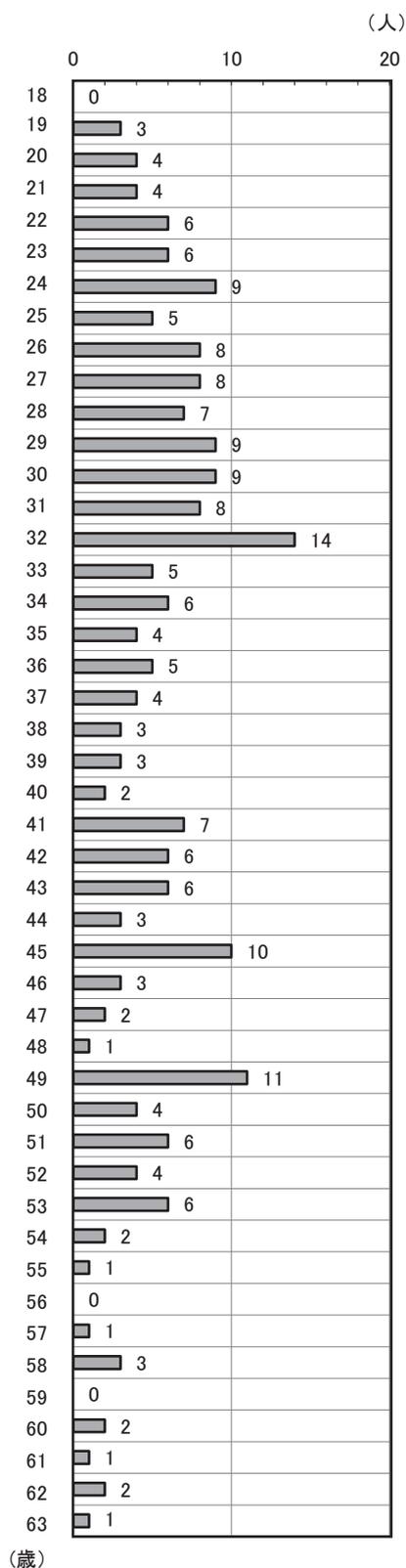
5. 職員の配置状況

区分 所属		総計	消防吏員									その他職員		
			計	正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	計	事務吏員	
定員		230												
実員		214	213	1	3	4	11	37	86		71	1	1	
消防本部	消防	長	1	1	1									
		次長	1	1		1								
		参事	2	2		2								
	総務課	課長	(1)	(1)		(1)								
		補佐	1	1				1						
		庶務係	3	3					2	1				
		経理係	3	2						2		1	1	
		教養係	(1)	(1)				(1)						
		課付	2	2					1	1				
	予防課	課長	1	1			1							
		補佐	1	1				1						
		予防係	2	2					1	1				
		指導係	1	1					1					
		危険物係	3	3					2	1				
	警防課	課長	1	1			1							
		主幹												
		補佐	1	1				1						
		警防係	2	2					1			1		
		機械係	2	2					1			1		
	通信指令課	課長	1	1			1							
		主幹												
補佐		3	3				3							
通信第1係		3	3					1	1		1			
通信第2係		3	3					1	1		1			
通信第3係		3	3					1	2					
消防署	中央	本署	署長	(1)	(1)		(1)							
			副署長	1	1		1							
			庶務係	1	1					1				
			予防係	(1)	(1)		(1)							
			中隊(1.2.3中隊)	86	86				3	12	34		37	
	防署	出張所	東出張所	19	19				1	3	9		6	
			南出張所	13	13					1	6		6	
			玖西出張所	19	19				1	3	9		6	
			玖珂機関員駐在所	3	3						3			
		署	玖北第1出張所	13	13					1	6		6	
			錦機関員駐在所	3	3					2	1			
			玖北第2出張所	13	13					1	6		6	
			本郷機関員駐在所	3	3					1	2			

() は兼務

6. 職員の年齢構成

年 齢	消 防 職 員									
	人 数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合計	214	1	3	4	11	37	86	0	71	1
平均	36.5	63.0	56.0	55.5	52.5	47.3	36.7	0.0	25.7	58.0
18	0									
19	3								3	
20	4								4	
21	4								4	
22	6								6	
23	6								6	
24	9								9	
25	5								5	
26	8								8	
27	8						6		2	
28	7						2		5	
29	9						5		4	
30	9						7		2	
31	8						4		4	
32	14						9		5	
33	5						3		2	
34	6						4		2	
35	4						4			
36	5						5			
37	4						4			
38	3						3			
39	3						3			
40	2						2			
41	7					3	4			
42	6					3	3			
43	6					2	4			
44	3					2	1			
45	10					4	6			
46	3					3				
47	2					1	1			
48	1						1			
49	11				1	8	2			
50	4				1	3				
51	6			1		5				
52	4				3	1				
53	6		1	1	3	1				
54	2				2					
55	1				1					
56	0									
57	1		1							
58	3		1	1						1
59	0									
60	2			1		1				
61	1						1			
62	2						2			
63	1	1								



7. 職員の消防学校等入校状況

科目 年度別	消防大学校										山口県消防学校										救急救命士研修所				広島県消防学校救急科	全国市町村国際文化研修所	消防 運転 技術 緊急 救助 者自 動 課程									
	計	上級幹部科	幹部科	予防科	危険物科	警防科	救急科	救助科	火災調査科	救助C・特別高度	初任教育	初級	中級	上級	予防査察科	火災調査科	特殊災害科	大規模災害対策科	救助科	都市型救助講習	警防科	救急科 (標準課程含)	II課程	操法指導科	梯子車隊員教育	水難救助科	消防団指導科	起震車操作員講習	惨事ストレス研修							
平成 10	33	1								5	1			2					3		1	9	4	2	1						1					
〃 11	26						1			4	1				1					3		1		5	4	2	1				2		1			
〃 12	30						1			3	1			2						3		1		5	4	2	1				2		1			
〃 13	19	1	1								1			1	1					2		1		3	4	1	1				2					
〃 14	24	1				1				2		1		2						2		1		4	4	2	1				1		1			
〃 15	29	1						1		4	1			1	1					2				5	4	2					2		1			
〃 16	29						1	1		4	1			1	1					1				6	4	2	1				3	2	1			
〃 17	32									3	1			1	1	3				2				5	4	2	1				3	4	1			
〃 18	36									5				1	1	3				2				6	4	2	1				3	2	1			
〃 19	38									8	1			1	1	3				2				6		2	1				3	3	1			
〃 20	50									10				1	1	3				2			16								5	3	5	1		
〃 21	72									15	1			1	1	3				2			24								4	3	4	1		
〃 22	54									13				1						2			23								3	7	1	1		
〃 23	20									6	1			1	1					1											2	1	1	1		
〃 24	25									11				1	1					3												2	1	1	1	
〃 25	27		2							14				1						3												1	1	1	1	
〃 26	27									12				1	1					2												2	1	1	1	
〃 27	25						1			11	1			1	1					2												3	1	1	1	
〃 28	28									10				1	1					2													5	1	1	1
〃 29	24	1	1							3	1			1	1					3												5	1	1	1	
計	648	5	4	1	1	4	3	6	8	9	143	9	10	5	20	15	15	7	43	2	5	9	108	36	19	18	1	22	15	21	57	9	18			

※初任総合教育(救急講習)

8. 職員免許資格取得状況

階 級 実 員	計	正 監	監	司 令長	司 令	司 令補	士 長	副 士長	士	事務 吏員
	214	1	3	4	11	37	86		71	1
大型一種自動車運転免許	148		1	3	10	28	73		33	
大型二種自動車運転免許	0									
中型一種自動車運転免許	16						5		11	
普通一種自動車運転免許	45						9		36	
普通一種自動車運転免許(8t限定中型)	144	1	1	5	11	36	73		16	1
大型特殊自動車運転免許	1								1	
けん引自動車運転免許	1								1	
自動二輪	74	1	1	4	9	21	34		4	
2級小型船舶操縦士	43			2	4	16	21			
第2級陸上特殊無線技士	60				2	13	41		4	
第3級陸上特殊無線技士	71						36		35	
アマチュア無線技士	12				2	6	4			
救急隊員資格者(Ⅱ課程・標準)	169	1	1	4	11	35	77		40	
救急救命士	45			1	2	14	23		5	
薬剤投与認定証	30			1	2	13	14			
気管挿管認定証	8					6	2			
衛生管理者	7			1		3	2		1	
危険物取扱者(甲種)	2						1		1	
危険物取扱者(乙種)	81			1	2	8	45		25	
危険物取扱者(丙種)	10	1				1	7		1	
消防設備士(甲種)	1					1				
消防設備士(乙種)	22	1				2	8		11	
電気工事士	4		1				2		1	
電気工事士(Ⅱ種)	2								2	
予防技術資格(防火査察)	41	1			3	3	25		9	
予防技術資格(消防用設備等)	6	1			1	1	2		1	
予防技術資格(危険物)	8			1		1	4		2	
乙種火薬類取扱保安責任者	14			1	3	3	7			
潜水士	34				3	8	18		5	
ボイラー技士	4					1	1		2	
建築士(2級)	2					1	1			
ガス溶接技能講習	55		1	3	5	13	28		5	
電気溶接技能講習	2						2			
小型移動式クレーン運転技能講習	55		1	2	5	14	29		4	
玉掛技能講習	60		1	3	5	13	32		6	
第二種酸素欠乏危険作業主任者	49	1	1	2	8	15	21		1	
足場の組立等作業主任者	13		1	1	1	1	8		1	
一般毒劇物取扱者	1					1				
テクニカルロープレスキュー	8				2	3	2		1	
スイフトウォーターレスキュー	7				2	1	4			
操法指導員及び審査員	16	1		4	4	3	4			
特定化学物質等作業主任者技能講習	21		1	2	2	9	7			
可搬式消防ポンプ等整備資格者	5				1		3		1	
伐木等労働安全衛生特別教育	23		1		1	2	18		1	
はしご車使用者講習	103		1	2	8	16	46		30	

9. 消防音楽隊（昭和54年4月16日結成）

階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	市職員	計
人員	2	3	2	4	0	5	14	30

トランペット ④	パーカッション ⑥	トロンボーン ③
ホルン ②	ユーホニウム ②	バス・スーザフォン ②
フルート・ピッコロ ②	クラリネット ④	サクソフォン ④
	指揮者 ①	

平成29年活動状況

出演月日	行事名	対象人員	演奏曲数
1月8日（日）	岩国市消防出初式	500名	4曲
4月10日（月）	岩国市交通安全市民大会及びパレード	1,000名	2曲
4月22日（土）	由宇町戦没者追悼式	100名	5曲
5月19日（金）	周東町戦没者追悼式	100名	5曲
8月20日（日）	岩国地区消防操法大会	1,000名	5曲
8月26日（土）	灘海園夏祭り	1,000名	5曲
11月12日（日）	岩国市場まつり	400名	4曲
11月25日（土）	岩国駅東西自由通路橋上駅舎供用開始記念セレモニー	300人	3曲
12月22日（木）	クリスマスみにコンサート	200名	5曲
計	9回		

III 消防施設

1. 消防庁舎の現況

区 分	所 在 地	建 築 年 月 日	構 造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延 面 積 (㎡)
消 防 本 部	〒740-0037 岩国市愛宕町一丁目4番1号 代表 (0827) 31-0119 (総務課) (0827) 31-0193 (予防課) (0827) 31-0196 (警防課) (0827) 31-0199	平成27年 12月28日	耐火4階	16,872.00	3,743.36	8,715.15
中 央 消 防 署	消防本部と併用 (0827) 31-0205	—	—	—	—	—
中 央 消 防 署 東 出 張 所	〒740-0061 玖珂郡和木町和木四丁目1番2号 (0827) 21-2548	昭和49年 3月30日	耐火2階	672.00	276.15	333.04
中 央 消 防 署 南 出 張 所	〒740-1455 岩国市由宇町北一丁目5番1号 (0827) 63-0119	昭和49年 3月20日	耐火2階	648.60	230.00	279.00
中 央 消 防 署 玖 西 出 張 所	〒742-0417 岩国市周東町下久原1150番地5 (0827) 84-0375	昭和49年 3月20日	耐火平屋	651.00	244.10	244.10
中 央 消 防 署 玖 西 出 張 所 玖珂機関員駐在所	〒742-0325 岩国市玖珂町5969番地 (0827) 82-0119	昭和61年 11月25日	耐火2階	65.00	65.00	130.00
中 央 消 防 署 玖 北 第 1 出 張 所	〒740-0502 岩国市美川町四馬神1296番地1 (0827) 76-0119	昭和49年 3月20日	耐火平屋	452.51	221.08	221.08
中 央 消 防 署 玖 北 第 1 出 張 所 錦機関員駐在所	〒740-0724 岩国市錦町広瀬12番地8 (0827) 72-2161	平成25年 12月16日	木造平屋	194.00	89.43	89.43
中 央 消 防 署 玖 北 第 2 出 張 所	〒740-1231 岩国市美和町生見537番地1 (0827) 96-0119	昭和49年 3月20日	耐火平屋	422.00	213.94	213.94
中 央 消 防 署 玖 北 第 2 出 張 所 本郷機関員駐在所	〒740-0602 岩国市本郷町1604番地 (0827) 75-2319	昭和62年 11月30日	耐火2階	177.98	96.25	166.87

2. 消防車両保有状況

所 属 車 両	計	消 防 本 部	中央消防署								
			本 署	東 出 張 所	南 出 張 所	玖 西 出 張 所	玖 珂 機 関 員 駐 在 所	玖 北 第 一 出 張 所	錦 機 関 員 駐 在 所	玖 北 第 二 出 張 所	本 郷 機 関 員 駐 在 所
計	50	13	18	4	3	3	1	3	1	3	1
消防ポンプ自動車	13	(2)	3	1	1	1	1	1	1	1	1
水槽付消防 ポンプ自動車	2		2								
化学消防 ポンプ自動車	2		1	1							
大型高所放水車 (はしご車兼用)	1		1								
15mはしご付 消防ポンプ自動車	1		1								
泡原液搬送車	1		1								
救助工作車	1		1								
多目的搬送車	1		1								
高規格救急自動車	10	(2)	3	1	1	1		1		1	
指揮隊車	1		1								
指揮車	1	1									
指令車	2	1	1								
指令兼広報車	5			1	1	1		1		1	
査察車等	6	4	2								
防火広報車	1	1									
人員搬送車(バス)	1	1									
資機材搬送車	1	1									

※ () 書きは予備車

3. 消防車両一覧表

所 属	名 称	登録番号	車 名	型 別	ポンプ性能	無 線 局 名
消 防 本 部	指 揮 車	山口300め8730	マツダ			いわくにしき1
〃	指 令 車	山口800す1567	三菱	4WD		いわくにしらい1
〃	査 察 兼 広 報 車	山口501ほ7802	日産			いわくにささつ1
〃	連 絡 車	山口501ふ6507	日産			いわくにれんらく1
〃	防 火 広 報 車	山口800さ8917	トヨタ			いわくにこうほう1
〃	人 員 搬 送 車	山口200さ27	日野			いわくにはんそう1
〃	資 機 材 搬 送 車	山口800す1519	日野	4WD		いわくにさぎょう1
〃	軽 連 絡 車	山口480す4862	ダイハツ			
〃	応急手当普及推進車	山口480せ3205	ダイハツ			
〃	消 防 ポンプ自動車 (予備車)	山口800さ2808	三菱	CD-I型	日本機械 A-2級	ちゅうおう4
〃	消 防 ポンプ自動車 (予備車)	山口88た8766	いすゞ	CD-I型	日本機械 A-2級	ちゅうおう5
〃	高規格救急自動車 (予備車)	山口800さ7105	トヨタ	4WD		ちゅうおうきゅうきゅう4
〃	高規格救急自動車 (予備車)	山口800さ9302	トヨタ	4WD		ちゅうおうきゅうきゅう5
中央消防署本署	指 揮 隊 車	山口800す4330	トヨタ	4WD		ちゅうおうしきたい1
〃	指 令 車	山口800さ8482	トヨタ	4WD		ちゅうおうしらい1
〃	消 防 ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800す2553	日野	CD-I型	モリタ A-2級	ちゅうおう1
〃	消 防 ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800さ8286	日野	CD-I型	モリタ A-2級	ちゅうおう2
〃	消 防 ポンプ自動車	山口800す4875	日野	CD-I型	モリタ A-2級	ちゅうおう3
〃	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	山口800ほ1937	日野	水-II型	日本機械 A-2級	ちゅうおうタンク1
〃	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	山口800ほ348	いすゞ	水-II型	モリタ A-2級	ちゅうおうタンク2
〃	救 助 工 作 車	山口800ほ101	三菱	II-型		ちゅうおうきゅうじょ1
〃	多 目 的 搬 送 車	山口88た9978	日産	2.6tクレーン 油圧荷台付		ちゅうおうはんそう1
〃	大 型 高 所 放 水 車 (はしご車兼用)	山口830み119	日野	40m (はしご付)	モリタ A-2級	ちゅうおうはしご1
〃	大 型 化 学 消 防 ポンプ自動車	山口88つ1972	日産	大-I型	モリタ A-1級	ちゅうおうかがく1
〃	泡 原 液 搬 送 車	山口800ほ188	三菱	5,000ℓ	シバウラ B-3級	ちゅうおうげんえき1
〃	は し ご 付 消 防 ポンプ自動車	山口800ほ1990	日野	15m	モリタ A-2級	ちゅうおうはしご2

所 属	名 称	登録番号	車 名	型 別	ポンプ性能	無 線 局 名
中央消防署本署	高規格救急自動車	山口800す3135	日産	4WD		ちゅうおうきゅうきゅう1
〃	高規格救急自動車	山口800す4264	トヨタ	4WD		ちゅうおうきゅうきゅう2
〃	高規格救急自動車	山口800さ9718	トヨタ	4WD		ちゅうおうきゅうきゅう3
〃	査察兼広報車	山口800す4321	日産			ちゅうおうささつ1
〃	査察兼広報車	山口400ち8192	日産			ちゅうおうささつ2
中央消防署 東出張所	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800す380	日野	CD-I型	日本機械 A-2級	わき1
〃	化学消防ポンプ自動車	山口800は1418	日野	化-II型	日本機械 A-2級	わかかがく1
〃	高規格救急自動車	山口800す3136	日産	4WD		わききゅうきゅう1
〃	指令兼広報車	山口800さ9492	スズキ	4WD		わきしれい1
中央消防署 南出張所	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800さ5960	日野	CD-I型	モリタ A-2級	ゆう1
〃	高規格救急自動車	山口800す4263	トヨタ	4WD		ゆうきゅうきゅう1
〃	指令兼広報車	山口800さ9493	スズキ	4WD		ゆうしれい1
中央消防署 玖西出張所	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800さ5961	日野	CD-I型	モリタ A-2級	しゅうとう1
〃	高規格救急自動車	山口800す2585	トヨタ	4WD		しゅうとうきゅうきゅう1
〃	指令兼広報車	山口800さ8847	スズキ	4WD		しゅうとうしれい1
中央消防署 玖西出張所 玖珂機関員駐在所	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800さ9025	日野	CD-I型	モリタ A-2級	くが1
中央消防署 玖北第1出張所	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800す862	日野	CD-I型 (4WD)	モリタ A-2級	みかわ1
〃	高規格救急自動車	山口800す1544	日産	4WD		みかわきゅうきゅう1
〃	指令兼広報車	山口800さ8848	スズキ	4WD		みかわしれい1
中央消防署 玖北第1出張所 錦機関員駐在所	消防ポンプ自動車	山口800す5297	日野	CD-I型 (4WD)	日本機械 A-2級	ひろせ1
中央消防署 玖北第2出張所	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800す3694	日野	CD-I型 (4WD)	日本機械 A-2級	みわ1
〃	高規格救急自動車	山口800す5141	トヨタ	4WD		みわきゅうきゅう1
〃	指令兼広報車	山口800さ8850	スズキ	4WD		みわしれい1
中央消防署 玖北第2出張所 本郷機関員駐在所	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800さ9653	日野	CD-I型 (4WD)	モリタ A-2級	ほんごう1

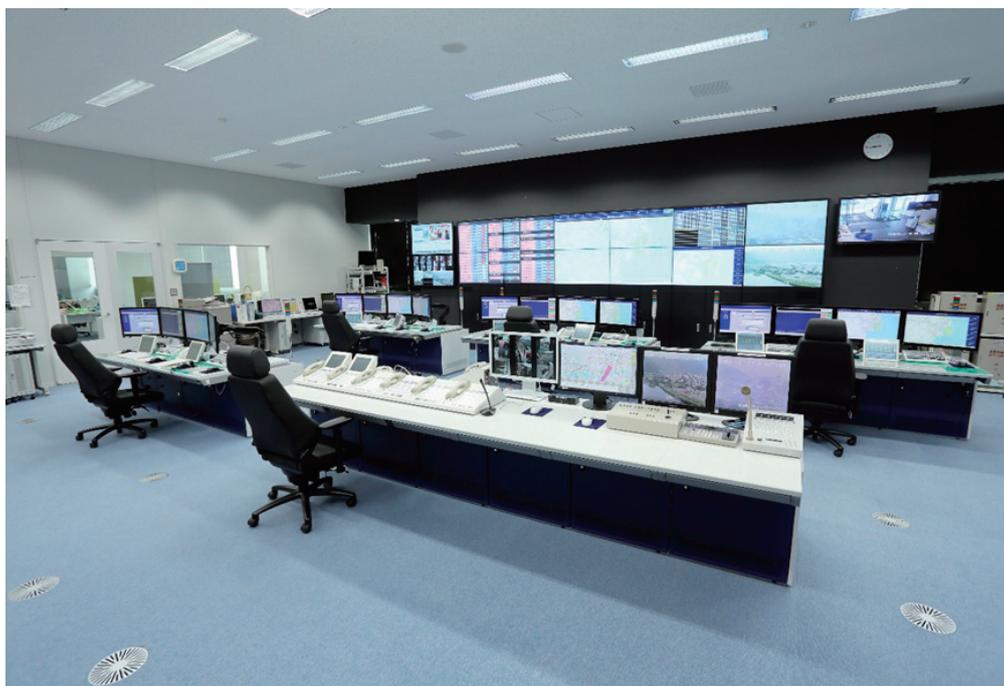
4. 機械器具等保有状況

種 類	署 所 別	合 計	消 防 本 部	中央消防署					
				本 署	東 出 張 所	南 出 張 所	玖 西 出 張 所 (玖珂機関員駐在所含)	玖 北 第 一 出 張 所 (錦機関員駐在所含)	玖 北 第 二 出 張 所 (本郷機関員駐在所含)
一般用救助器具	かぎ付きはしご	4		4					
	三連はしご	4		3	1				
	金属製折りたたみはしご又はワイヤはしご	12		4	1	1	2	2	2
	空気式救助マット	1		1					
	救命索発射銃	3		3					
	サバイバースリング又は救助用縛帯	6		5				1	
平担架	1		1						
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	20	2	9	2	1	2	2	2
	油圧プレッター	2		2					
	可搬ウインチ	2		2					
	マンホール救助器具	1		1					
	マット型空気ジャッキ	1		1					
	大型油圧プレッター	1		1					
	救助用支柱器具	1		1					
チェーンブロック	3		3						
切断用器具	油圧切断機	1		1					
	エンジンカッター	5		2	1	1	1		
	ガス溶断器	3	2	1					
	チェーンソー	8		1	2	1	1	2	1
	鉄線カッター	23		10	2	3	2	2	4
	空気鋸	2		2					
	大型油圧切断機	1		1					
空気切断機	2		2						
破壊用器具	万能斧	15		8	2	1	1	1	2
	ハンマー	14		8	1	1	2	1	1
	携帯コンクリート破壊器具	2		2					
	削岩機	1		1					
	ハンマドリル	1		1					
測定用器具	生物剤検知器	1	1						
	可燃性ガス測定器	15		6	2	1	2	2	2
	有毒ガス測定器	10		5	1	1	1	1	1
	酸素濃度測定器	10		5	1	1	1	1	1
	放射線測定器	9		6	3				
呼吸保護用器具	空気呼吸器	75	27	34	6	2	2	2	2
	酸素呼吸器	5		5					
	簡易呼吸器	5		5					
	防塵マスク	5		5					
	送排風機	2		2					
除染用器具	除染シヤワー	1	1						
	除染剤散布器	1	1						

種 類	署 所 別	合 計	消 防 本 部	中央消防署						
				本 署	東 出 張 所	南 出 張 所	玖 西 出 張 所 (玖珂機関員駐在所含)	玖 北 第 一 出 張 所 (錦機関員駐在所含)	玖 北 第 二 出 張 所 (本郷機関員駐在所含)	
隊員保護用器具	耐 電 手 袋	38		24	6	1	2	3	2	
	耐 電 衣	10		10						
	耐 電 ズ ボ ン	10		10						
	耐 電 長 靴	32		20	4	1	2	3	2	
	防 塵 メ ガ ネ	5		5						
	携 帯 警 報 器	48		34	6	2	2	2	2	
	防 毒 マ ス ク	18	5	10	3					
	化学防護服(陽圧式化学防護服除く)	12	5	5	2					
	陽 圧 式 化 学 防 護 服	9	5	4						
	耐 熱 服	8		5	3					
放 射 線 防 護 服	6		4	2						
潜水救助用器具	潜 水 器 具	16		16						
	救 命 胴 衣	46		28	3	2	9	2	2	
	水 中 投 光 器	23		23						
	救 命 浮 環	4		3			1			
	救 命 ボ ー ト	3		3						
	船 外 機	3		3						
	水 中 ス ク ー タ ー	2		2						
	水 中 無 線 機	8		8						
水 中 時 計	3		3							
その他の救助用器具	バ ス ケ ッ ト 型 担 架	7		4	1		1	1		
	簡 易 画 像 探 索 機	1		1						
	投 光 器	19		10	2	1	2	2	2	
	携 帯 投 光 器	30		19	2	2	1	2	4	
	携 帯 拡 声 器	24	1	13	3	1	2	2	2	
	応 急 処 置 用 セ ッ ト	2		1	1					
	車 両 移 動 器 具	1		1						
	緩 降 機	3		3						
	ロ ー プ 登 降 機	2		2						
	救 助 用 降 下 機	1		1						
緊援隊用資器材	発 電 機	32	3	10	4	3	4	4	4	
	エアーテント(6m×6m)	1	1							
	エアーテント(6m×5m)	1	1							
	エアーテント(4m×4m)	1	1							
	簡 易 ベ ッ ド	38	38							
	テ ー ブ ル	5	5							
	イ ス	18	18							
寝 袋	38	38								

IV 通信施設

1. 通信指令室の様相

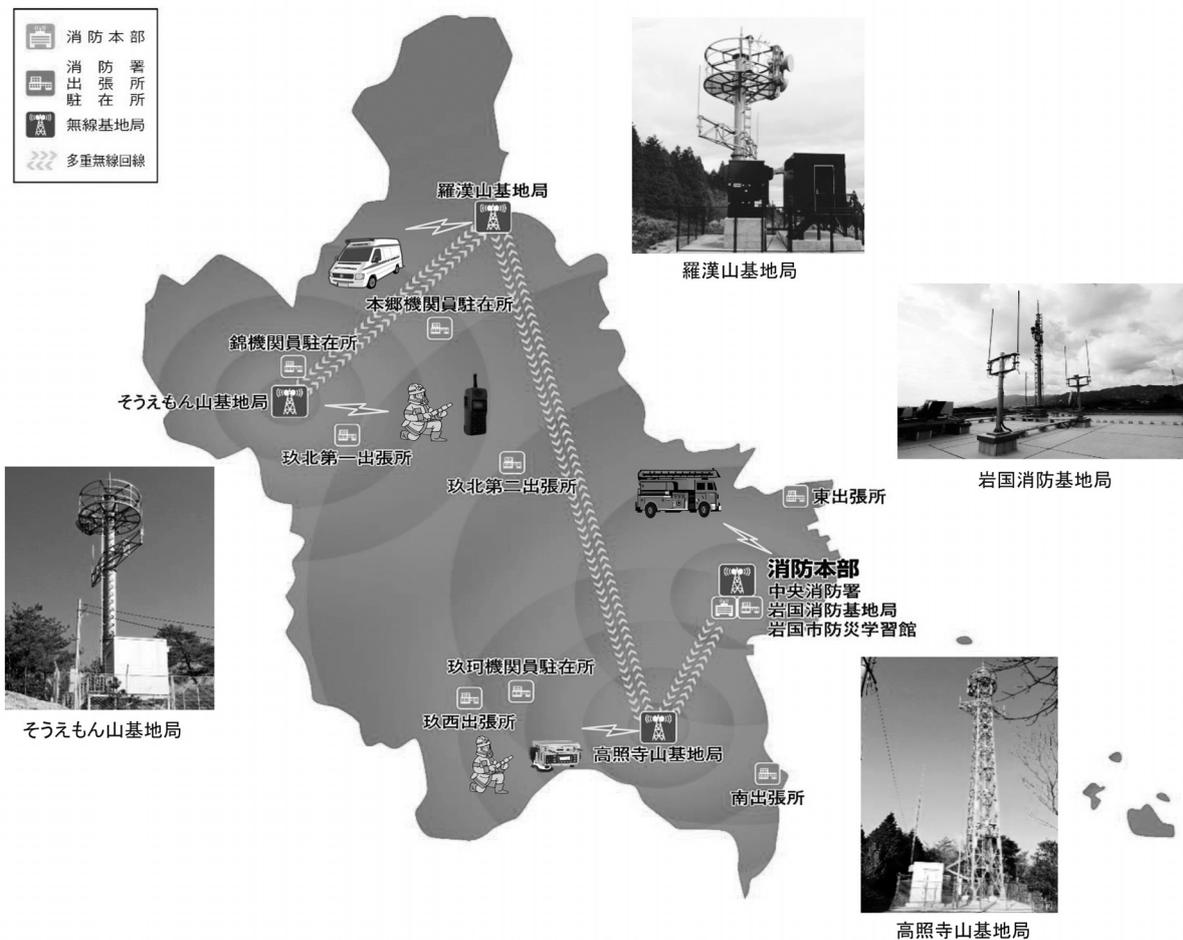


2. 消防通信の概況

種 別	計	消 防 本 部	中 央 消 防 署								
			本 署	東 出 張 所	南 出 張 所	玖 西 出 張 所	駐 在 所	玖 珂 機 関 員	玖 北 第 一 出 張 所	錦 機 関 員 駐 在 所	玖 北 第 二 出 張 所
計	97	42	8	6	7	8	4	7	4	7	4
通信指令システム	1	1									
指令電送回線	10	2	0	1	1	1	1	1	1	1	1
119番専用回線	4	4									
携帯119番回線	2	2									
119番FAX受信回線	1	1									
Web119回線	1	1									
衛星119番回線	2	2									
携帯119番転送回線	1	1									
指令台発着信専用回線	1	1									
関係機関専用回線	8			1	1	2		2		2	
市役所専用回線	2	2									
警察専用回線	1	1									
西日本高速道路(株)専用回線	2	1				1					
米軍基地専用回線	1	1									
防火相談ダイヤル	1	1									
一般加入電話回線	12	3	0	1	2	1	1	1	1	1	1
FAX回線	12	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1
順次指令用加入回線	3	3									
住民案内回線	1	1									
GPS-AVM専用回線	1	1									
IP-VPN回線	2	2									
携帯電	28	8	7	2	2	2	1	2	1	2	1

※ 加入電話兼用回線

4. デジタル無線通信系統図

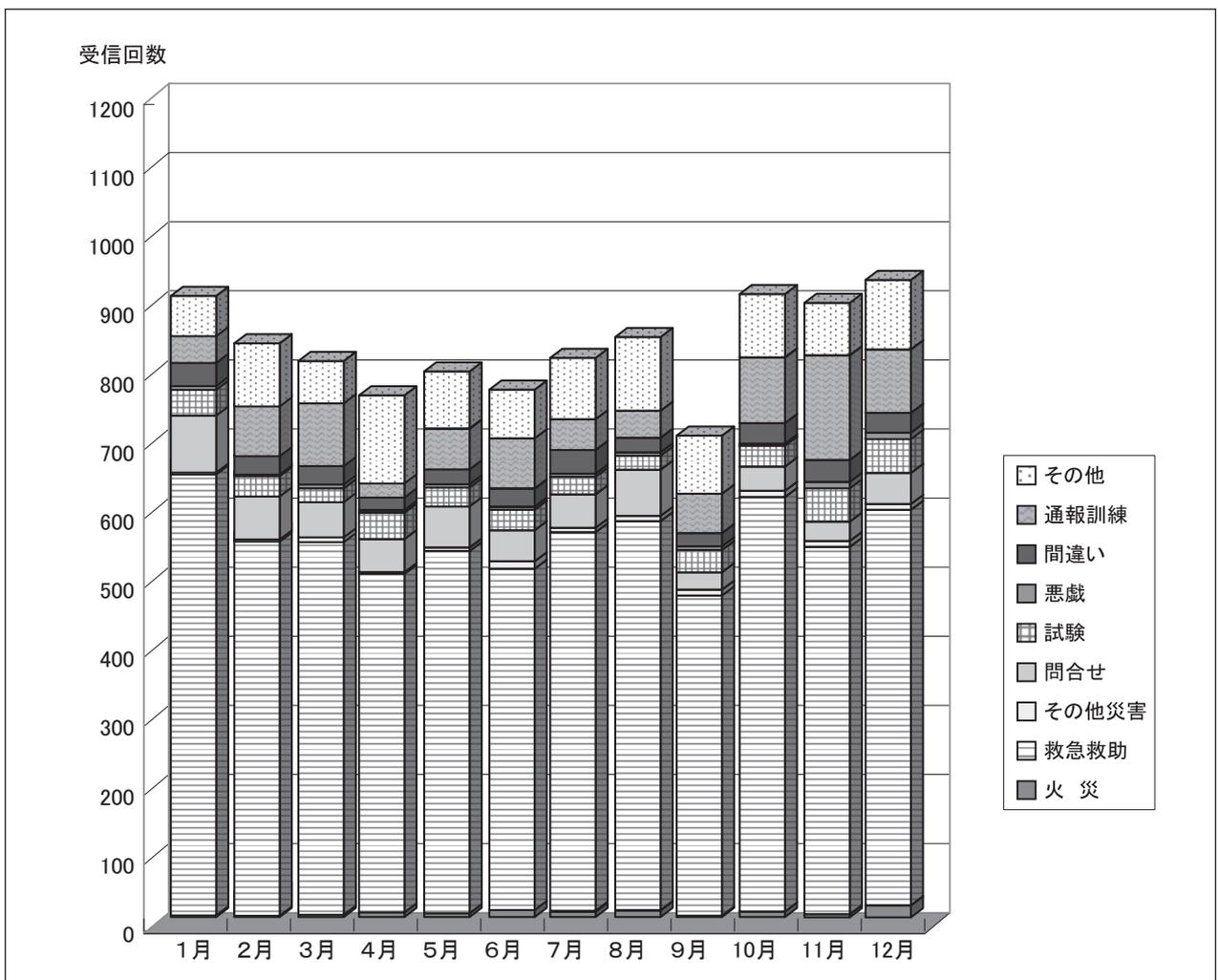


		消防本部	高照寺山	羅漢山	そうえもん山	中央消防署								合計		
						本署	東出張所	南出張所	玖西出張所	玖珂機関員駐在所	玖北第1出張所	錦機関員駐在所	玖北第2出張所		本郷機関員駐在所	
デジタル無線	基地局	1	1	1	1										4	
	固定局	1	1	1	1										4	
	移動局	卓上型					1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
		車載型	11				18	4	3	3	1	3	1	3	1	48
		携帯型	6				16	4	3	3	1	3	1	3	1	41
		可搬型					1									1
アナログ無線	移動局	車載型	1				7	2							10	
		携帯型					7	2							9	
		可搬型	1												1	

※ 地震等の災害の発生に伴う停電対策として、直流電源装置及び非常用発電機を設置しております。

5. 月別119番受信状況

	火 災	救急救助	その他災害	問 合 せ	試 験	悪 戯	間 違 い	通報訓練	そ の 他	計
1 月	3	653	3	84	38	1	37	40	60	919
2 月	3	554	1	65	30	2	28	72	94	849
3 月	3	553	6	54	20	4	28	92	63	823
4 月	9	501	2	48	39	4	19	21	128	771
5 月	6	537	5	60	29	3	23	60	84	807
6 月	12	505	9	47	31	1	31	74	72	782
7 月	8	562	7	49	26	4	36	46	90	828
8 月	10	578	6	68	23	3	22	40	108	858
9 月	1	477	7	26	34	4	20	58	86	713
10 月	8	615	9	36	30	1	34	96	94	923
11 月	5	545	6	29	50	9	34	155	77	910
12 月	18	586	8	46	49	9	31	95	102	944
計	86	6,666	69	612	399	45	343	849	1058	10,127



V 火 災

1. 火災概況

(1) 火災件数

平成29年中の出火総件数は66件で、前年比18件増加した。この内前年比で建物火災は9件、車両火災は6件、林野火災は3件の増加であったが、その他火災については3件の減少となっている。

火災による死者は4名で前年より4名増、負傷者は8名で4名の減少であった。

種 別	件 数	割 合	増 減
建 物 火 災	32件	48%	18件
林 野 火 災	3件	5%	3件
車 両 火 災	12件	18%	6件
船 舶 火 災	0件	0%	—
航 空 機 火 災	0件	0%	—
そ の 他 火 災	19件	29%	△3件

(2) 出火原因

出火原因は「たき火」が8件と最も多く、次いで「たばこ」が6件、「放火」が4件の順となっている。

火災種別ごとの主な出火原因は以下のとおりである。

建 物 火 災		林 野 火 災		車 両 火 災		そ の 他 の 火 災	
た ば こ	4件	火 あ そ び	1件	衝 突 の 火 花	2件	た き 火	8件
放 火	3件	そ の 他	2件	電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	1件	た ば こ	2件
こ ん ろ	2件			内 燃 機 関	1件	火 入 れ	2件
ス ト ー ブ	2件			排 気 管	1件	放 火	1件
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	2件			電 気 機 器	1件	放 火 の 疑 い	1件
電 気 装 置	2件			放 火 の 疑 い	1件	溶 接 機 ・ 切 断 機	1件
放 火 の 疑 い	1件			配 線 器 具	1件	そ の 他	4件
そ の 他	13件			そ の 他	2件		
不 明	3件			不 明	2件		

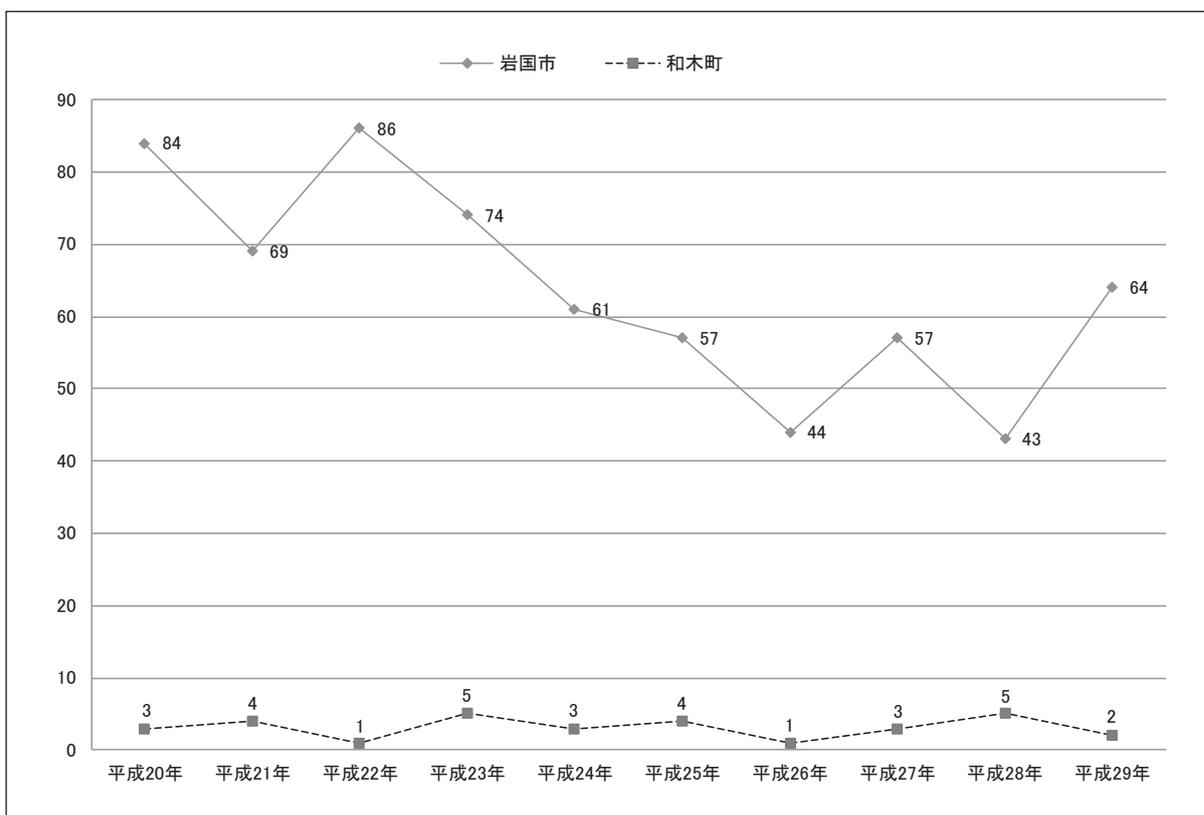
(3) 火災損害

火災損害の合計は56,077（千円）で、前年比18,076（千円）の減となった。

種 別	損 害 額 (千円)	増 減 (千円)
建 物 の 損 害	36,528	1,450
林 野 の 損 害	15	15
車 両 の 損 害	19,175	17,290
船 舶 の 損 害	—	—
航 空 機 の 損 害	—	—
そ の 他 の 損 害	359	△679

(4) 年別・管轄別・市町別火災発生状況

年別		平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	年別		平成28年	平成28年
中央消防署	本署	15	9	19	14	18	14	14	12	中央消防署 (統合後)	本署	21	39
	分遣所	8	8	12	6	9	3	6	5		東所	8	5
	東所	7	5	3	7	4	5	1	3		南所	5	4
	南所	9	8	5	7	4	3	3	3		玖西所	9	13
	小計	39	30	39	34	35	25	24	23		玖1所	2	4
西消防署	本署	15	16	17	12	7	11	8	20		玖2所	3	1
	玖西所	21	19	23	22	16	16	12	10		計	48	66
	玖1所	4	3	3	3	2	2	1	2		岩国地域	25	44
	玖2所	8	5	5	8	4	7		5		由宇地域	4	2
	小計	48	43	48	45	29	36	21	37		玖珂地域	5	3
	岩国地域	48	36	51	39	36	30	30	38	本郷地域	1	1	
	由宇地域	3	6	4	2	3	2	1	2	周東地域	4	10	
	玖珂地域	5	5	5	7	9	6	2	5	錦地域	2	3	
岩国市	本郷地域	3	1	2	1	1				美川地域			
	周東地域	16	13	18	15	7	10	10	5	美和地域	2	1	
	錦地域	4	3	2	2	1	2	1	1	岩国市小計	43	64	
	美川地域		1	1	1	1			1	和木町	5	2	
	美和地域	5	4	3	7	3	7		5	計	48	66	
	岩国市小計	84	69	86	74	61	57	44	57				
	和木町	3	4	1	5	3	4	1	3				
	計	87	73	87	79	64	61	45	60				



2. 管轄別・市町別・月別火災発生状況

区分 管轄別 市町別		計	火災種別						爆 発	建 物 火 災											
			建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他		焼 損 棟 数				雇 災 世 帯				雇 災 人 員			
										出 火 棟				類 焼 棟					全 損	半 損	小 損
										全 焼	半 焼	部 分 焼	ほ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ほ や				
中 央 消 防 署	本 署	39	20	3	6			10		8		5	7	5		6	6	5	1	13	47
	東 所	5	2		2			1		1			1		1	1	1		2	4	
	南 所	4	1		1			2		1				1		1				1	
	玖西所	13	7		2			4		2		5		1				2	3	13	
	玖1所	4	1		1			2					1								
	玖2所	1	1										1							1	3
計		66	32	3	12			19		12		10	10	6		8	7	9	1	19	68
岩 国 市	岩国地域	44	22	3	9			10		9		5	8	5		7	6	6	1	14	49
	由宇地域	2						2													
	玖珂地域	3			1			2													
	本郷地域	1						1													
	周東地域	10	7		1			2		2		5		1				2	3	13	
	錦地域	3	1		1			1					1								
	美川地域																				
	美和地域	1	1										1							1	3
岩国市小計		64	31	3	12			18		11		10	10	6		7	6	8	1	18	65
和 木 町	2	1					1		1						1	1	1		1	3	
計		66	32	3	12			19		12		10	10	6		8	7	9	1	19	68
1 月	2	1		1					1						1	1	1		1	3	
2 月	4	4							2		2		3		5	3	3		5	24	
3 月	7	4		2			1				1	3							4	5	
4 月	6	1	2				3				1							1		3	
5 月	5			2			3								1				1	2	
6 月	7	3	1				3		2			1									
7 月	4			1			3														
8 月	8	5		2			1		1		3	1					1		1	6	
9 月	3			1			2														
10 月	3			2			1														
11 月	5	5							1		1	3	1						1	2	
12 月	12	9		1			2		5		2	2	2		2	2	4		6	23	
計		66	32	3	12			19		12		10	10	6		8	7	9	1	19	68

区 分 管轄別 市町別		死傷者		焼損面積			損 害 額 (千円)								
		死 者	負 傷 者	建 物		林 野 面 積 (a)	建 物 損 害			林 野 の 損 害	車 両 の 損 害	船 舶 の 損 害	航 空 機 の 損 害	そ の 他 の 損 害	計
				床 面 積 (㎡)	表 面 積 (㎡)		建 物	収 容 物	小 計						
中 央 消 防 署	本 署	1	3	925	261	100	13,257	3,837	17,094	15	3,891			276	21,276
	東 所	1		57	6		925	47	972		39			51	1,062
	南 所		1	96	7		1,959	61	2,020		3				2,023
	玖西所	2	4	307	12		14,345	2,077	16,422		242			27	16,691
	玖1所										15,000			5	15,005
	玖2所							20	20						20
計		4	8	1,385	286	100	30,486	6,042	36,528	15	19,175			359	56,077
岩 国 市	岩国地域	1	4	1,021	268	100	15,220	3,901	19,121	15	3,933			276	23,345
	由宇地域														
	玖珂地域										64			16	80
	本郷地域													5	5
	周東地域	2	4	307	12		14,345	2,077	16,422		178			11	16,611
	錦 地域										15,000				15,000
	美川地域														
	美和地域							20	20						20
岩国市小計		3	8	1,328	280	100	29,565	5,998	35,563	15	19,175			308	55,061
和 木 町	1		57	6		921	44	965					51	1,016	
計		4	8	1,385	286	100	30,486	6,042	36,528	15	19,175			359	56,077
1 月	1		57	6		921	44	965		1			1	967	
2 月	2		498	244		3,824	668	4,492		3			116	4,611	
3 月			3			88	10	98		207			2	307	
4 月			38		5	543	440	983					1	984	
5 月						10		10		2,664			37	2,711	
6 月			31	1	95	322	423	745	15	30			6	796	
7 月										38			50	88	
8 月		4	191	3		11,830	1,352	13,182		893			129	14,204	
9 月		1								3			1	4	
10 月										15,300				15,300	
11 月	1		18	3		46	32	78						78	
12 月		3	549	29		12,902	3,073	15,975		36			16	16,027	
計		4	8	1,385	286	100	30,486	6,042	36,528	15	19,175			359	56,077

3. 火災別・市町別・月別出火原因

区分 管轄別 市町村別	合計	放	タ	放	た	こ	ス	火	火	電	マ	配	焼	電	溶	排	風	灯	電	煙	取	衝	内	コ	ボ	か	そ	不		
		火	バ	火	火	火	ト	あ	入	灯・電話等の配線	マッチ・ライター	線器具	却炉	気機	接機・切断機	気	呂かまど	火	気装置	突・煙道	突の火	燃機	燃機	タ	イ	ま	の	明・調査中		
火災種別	建物	32	3	4	1		2	2		2		1						1	2		1						10	3		
	林野	3						1																				2		
	車両	12			1					1		1		1		1							2	1				2	2	
	船舶																													
	航空機																													
	その他	19	1	2	1	8				2						1													4	
爆発																														
計	66	4	6	3	8	2	2	1	2	3		2		1	1	1		1	2		1	2	1					18	5	
岩国市小計	岩国地域	44	3	3	2	5	2	1	1		3		2			1	1		1	2		1	2	1				12	1	
	由宇地域	2				2																								
	玖珂地域	3		1	1																									1
	本郷地域	1				1																								
	周東地域	10	1	2				1		1				1															2	2
	錦地域	3								1																				2
	美川地域																													
	美和地域	1																												1
計	64	4	6	3	8	2	2	1	2	3		2		1	1	1		1	2		1	2	1					17	4	
和木町	2																												1	1
周南市																														
大竹市																														
その他																														
計	66	4	6	3	8	2	2	1	2	3		2		1	1	1		1	2		1	2	1					18	5	
1月	2																												1	1
2月	4	1	1															1											1	
3月	7	1			1		2			2						1														
4月	6				2			1	1																				2	
5月	5				2																			1					1	1
6月	7				1	1						1			1														3	
7月	4		1		1																								1	1
8月	8		2	2										1					2			1								
9月	3	1										1																	1	
10月	3			1	1																								1	
11月	5					1																							3	1
12月	12	1	2						1	1											1	1							3	2
計	66	4	6	3	8	2	2	1	2	3		2		1	1	1		1	2		1	2	1					17	6	

4. 平成 29 年中の主な火災

整理 番号	火 災 種 別	出 火 月 日	出 火 時 分 (頃)	入 電 時 分	鎮 火 時 分	出 火 場 所	火 元 用 途	焼 損 面 積 (㎡)	死傷者		損 害 額 (千円)
									死 者	負 傷 者	
1	建物	1月17日	3:20	3:45	5:33	玖珂郡和木町	住宅	63	1		966
2	建物	2月2日	4:00	5:08	4:02	岩国市周東町	住宅	3	1		5
3	建物	2月3日	3:20	3:38	5:59	岩国市門前町	住宅	146	1		2,154
4	建物	2月16日	15:40	15:57	19:37	岩国市錦見	住宅	583			2,283
5	車両	5月14日	17:50	17:58	18:26	岩国市御庄	普通自動車				2,630
6	建物	8月26日	6:50	6:58	8:24	岩国市周東町	住宅	164		4	12,957
7	車両	10月1日	6:10	6:16	8:56	岩国市錦町					15,000
8	建物	11月25日	15:40	15:56	16:18	岩国市周東町	住宅	2	1		6
9	建物	12月5日	6:35	6:45	7:59	岩国市通津	住宅	103		1	2,020
10	建物	12月19日	15:00	15:22	19:00	岩国市柱島	住宅	150		1	4,491
11	建物	12月22日	19:10	19:34	22:11	岩国市周東町	住宅	127			2,302
12	建物	12月30日	8:50	8:58	11:12	岩国市山手町	住宅	163			6,151

※ 損害額が100万円以上、死者の生じた火災を計上。

5. 過去 10 年間の火災動態

種別 年別	火 災 種 別							損 害 額 (単位千円)	死 傷 者	
	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	計		死 者	負 傷 者
平成 20 年	39	6	12			30	87	186,558	2	9
〃 21 年	35	9	5			24	73	64,123	6	14
〃 22 年	40	8	9			30	87	134,085	2	10
〃 23 年	36	7	12			24	79	110,201	5	9
〃 24 年	32	1	6			25	64	53,172	1	20
〃 25 年	24	2	5			30	61	1,216,255	2	29
〃 26 年	21	5	4			15	45	231,854	3	15
〃 27 年	29		10			21	60	44,630	2	6
〃 28 年	23		4			21	48	203,612	1	6
〃 29 年	32	3	12			19	66	56,077	4	8
計	311	41	79	0	0	239	670	2,300,567	28	126

6. 過去10年間の建物火災発生場所分類

年 別 場 所	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
	39	35	40	36	32	24	21	29	23	32
住 宅	22	21	17	15	13	10	8	11	13	15
併 用 住 宅	1								1	1
共 同 住 宅	2	2	5	2	7		1	4	2	3
劇 場										
公 会 堂						1				
キ ャ バ レ ー			1							
遊 技 場										
性 風 俗										
カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス										
料 理 店										
飲 食 店	2	1		1					1	2
物 品 販 売 店 舗			1	1	1			1		2
旅 館			1	1	1	1	1			
病 院										
グ ル ー プ ホ ー ム										
社 会 福 祉 施 設										1
幼 稚 園								1		
学 校						1				
図 書 館										
特 殊 浴 場										
公 衆 浴 場										
停 車 場	1									
神 社 ・ 寺 院			1	2				1		
工 場	3	3	1		2	2	2	5	2	3
ス タ ジ オ										
駐 車 場										
航 空 機 格 納 庫										
倉 庫	1	2		3	2	2	2	1		2
事 務 所	3		1		1	1	1		2	
複 合 用 途 (特 定)	1	1	1		1	4	2	1		
複 合 用 途 (非 特 定)	2			3	2		1	1	1	2
地 下 街										
準 地 下 街										
文 化 財										
そ の 他	1	5	11	8	2	2	3	3	1	1

VI 救 急

1. 救急概況

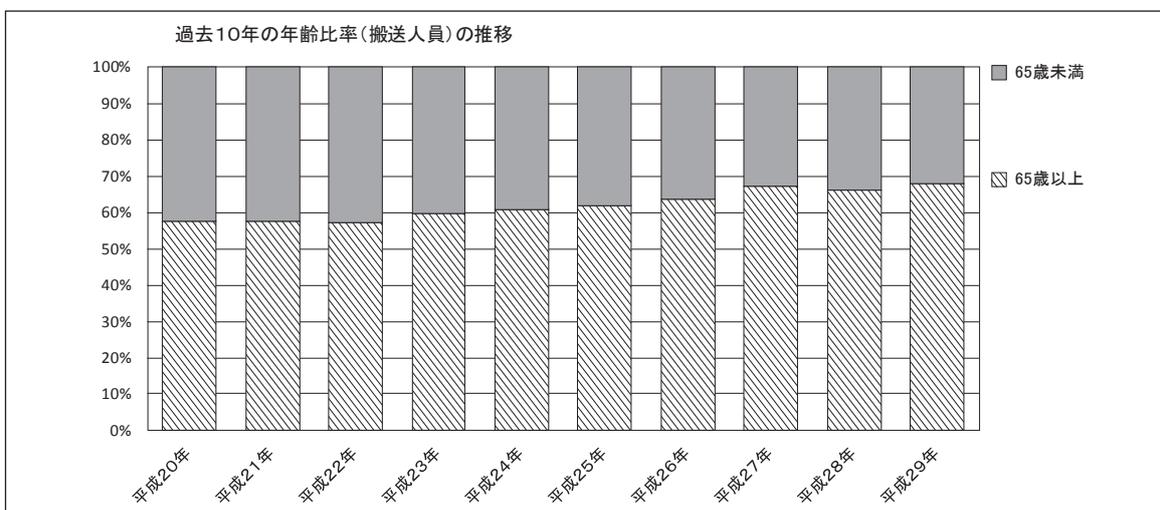
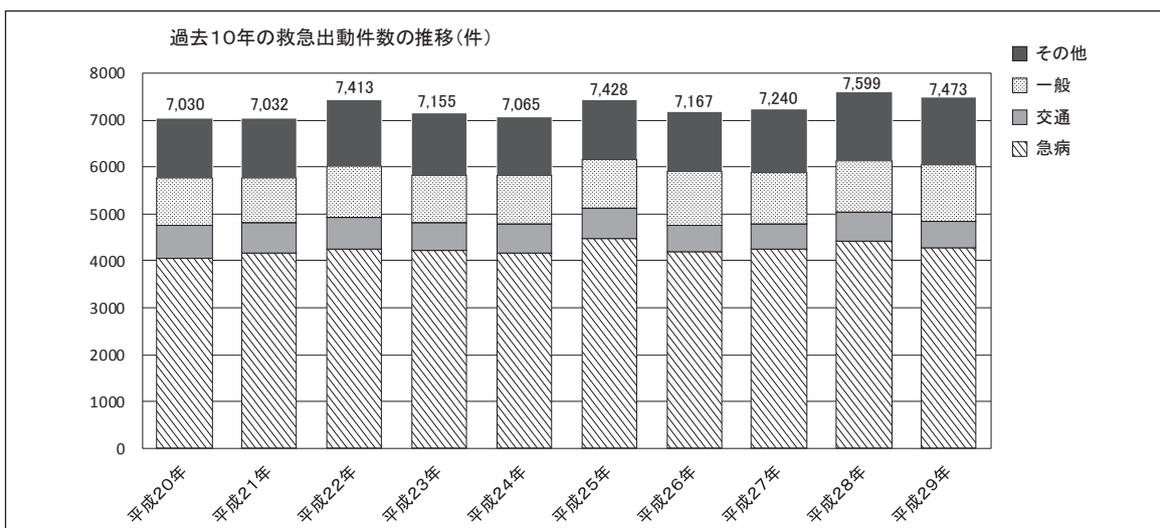
救急業務は、昭和38年に法制化されて以来、救急救命士制度導入以降、着実に救急業務の高度化が図られてきており、地域住民にとって不可欠な行政サービスとして定着している。

平成29年の出動件数は7,473件（1日平均20.4件）で、平成28年に比べると126件の減少となっており、搬送人員も6,642人と335人の減少となっているが、出動・搬送人員ともまだまだ多いのが現状である。

現場到着までの所要時間は平均で8.6分、医療機関収容までの所要時間は平均39.8分となっている。（入電起点）

搬送人員の年齢比率を見ると、65歳以上の搬送人員が4,516人（全体の68%）となっており、高齢化への急速な移行は依然深刻化し継続している。

今後も引きつづき医療機関との連携強化につとめ、指導救命士を中心としたメディカルコントロール体制の充実、またAEDの普及に伴い、バイスタンダーが行う応急手当の普及啓発活動の推進に積極的に取り組む必要がある。



2. 管轄別・市町別・月別救急発生状況

種別 管轄別 市町村別 月別	計			火災			自然災害			水難事故			交通事故			労働災害		
	出動 件数	不 搬 送	搬 送 人員															
中央 消防 署	本署	4,539	625	3,982	30	26	7			4	4		397	47	405	30	2	28
	東所	712	93	624	2	1	1						54	12	47	9		9
	南所	633	57	578									35	2	35	6		6
	玖西所	1,020	114	915	9	8	1						59	6	61	11		11
	玖1所	277	12	268									13	1	14	4		4
	玖2所	292	20	275						1	1		14	1	15	3		3
計	7,473	921	6,642	41	35	9			5	5		572	69	577	63	2	61	
岩国地域	岩国地域	5,085	686	4,460	27	23	4			4	4		423	46	428	39	1	38
	由宇地域	426	43	386	1	1							21	2	22			
	玖珂地域	505	48	464	2	2							30	5	32	5		5
	本郷地域	63	6	57														
	周東地域	639	82	570	9	7	5						47	8	48	7		7
	錦地域	209	13	196									10	2	8	5	1	4
	美川地域	80	1	82									7		9	2		2
	美和地域	204	12	194									8		9	1		1
岩国市小計	7,211	891	6,409	39	33	9			4	4		546	63	556	59	2	57	
和木町	259	29	231	2	2							24	6	19	4		4	
周南市	2		2									2		2				
大竹市																		
その他	1	1							1	1								
合計	7,473	921	6,642	41	35	9			5	5		572	69	577	63	2	61	
1月	739	97	647	2	2							35	6	33	4		4	
2月	633	94	542	4	3	1			1	1		46	6	43	3		3	
3月	651	91	581									52	7	66	7	1	6	
4月	570	108	464	2	2							43	6	39				
5月	615	69	549	2	2							61	8	56	10		10	
6月	562	56	510	3	3				1	1		44	4	44	4		4	
7月	627	65	570	3	3							52	10	48	6		6	
8月	646	83	575	8	7	4			1	1		52	4	54	5		5	
9月	542	54	496	2	1	1			1	1		40	3	42	3		3	
10月	650	64	589	2	2				1	1		65	6	62	5	1	4	
11月	595	63	535	4	4							36	4	35	8		8	
12月	643	11	584	9	6	3						46	5	55	8		8	
計	7,473	855	6,642	41	35	9			5	5		572	69	577	63	2	61	

種 別		運 動 競 技			一 般 負 傷			加 害			自 損 行 為			急 病			そ の 他		
		出 動 件 数	不 搬 送	搬 送 人 員	出 動 件 数	不 搬 送	搬 送 人 員	出 動 件 数	不 搬 送	搬 送 人 員	出 動 件 数	不 搬 送	搬 送 人 員	出 動 件 数	不 搬 送	搬 送 人 員	出 動 件 数	不 搬 送	搬 送 人 員
管 轄 別	市 町 村 別																		
		月 別																	
中 央 消 防 署	本 署	17		17	714	63	654	21	6	19	25	10	15	2,514	252	2,263	787	215	574
	東 所	3		3	108	11	97	2		2	8	5	3	445	52	393	81	12	69
	南 所	1		1	116	9	107	1		1	8	5	3	401	37	364	65	4	61
	玖 西 所	8		8	160	19	141	3	3		7	5	2	598	59	540	165	14	151
	玖 1 所				52	1	51				1	1		149	7	143	58	2	56
	玖 2 所	1		1	53	3	50							166	12	154	54	3	52
	計		30		30	1,203	106	1,100	27	9	22	49	26	23	4,273	419	3,857	1,210	250
岩 国 地 域	岩 国 地 域	18		18	828	73	758	23	6	21	37	18	19	2,893	291	2,603	793	224	571
	由 宇 地 域				64	6	58				4	1	3	266	30	236	70	3	67
	玖 珂 地 域	5		5	74	10	64	2	2		4	3	1	247	20	227	136	6	130
	本 郷 地 域				14	1	13							43	4	39	6	1	5
	周 東 地 域	3		3	103	11	92	2	1	1	2	2		414	45	370	52	8	44
	錦 地 域				31	1	30				1	1		104	5	99	58	3	55
	美 川 地 域				20		20							51	1	51			
	美 和 地 域	1		1	37	2	35							109	9	100	48	1	48
岩 国 市 小 計	27		27	1,171	104	1,070	27	9	22	48	25	23	4,127	405	3,725	1,163	246	920	
和 木 町	3		3	32	2	30				1	1		146	14	132	47	4	43	
周 南 市																			
大 竹 市																			
そ の 他																			
合 計		30		30	1,203	106	1,100	27	9	22	49	26	23	4,273	419	3,857	1,210	250	963
1 月				122	12	110	5	2	3	3	1	2	453	39	415	115	35	80	
2 月				92	8	84	2		2	5	2	3	388	43	345	92	31	61	
3 月	2		2	101	10	91				4	2	2	348	40	308	137	31	106	
4 月	2		2	82	14	68	1		1	3	3		312	35	277	125	48	77	
5 月	2		2	95	10	85	1		1	1		1	344	25	319	99	24	75	
6 月	7		7	85	9	76				6	4	2	330	22	308	82	13	69	
7 月	2		2	102	7	95	4		6	7	5	2	361	30	331	90	10	80	
8 月	3		3	101	8	93	5	4	2	3	1	2	377	43	335	91	15	77	
9 月	4		4	102	6	97	4	1	3	8	3	5	302	25	277	76	14	64	
10 月	1		1	109	7	102	2	1	1	5	3	2	346	30	317	114	13	100	
11 月	3		3	96	8	88							345	40	305	103	7	96	
12 月	4		4	116		111	3		3	4		2	367		320	86		78	
計		30		30	1,203	99	1,100	27	8	22	49	24	23	4,273	372	3,857	1,210	241	963

3. 現場到着所要時間別出場件数

時間 種別	計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	平均所要 時間(分)
急病	4,273	59	341	2,807	889	177	8.6
交通	572	1	55	336	132	48	9.6
一般負傷	1,203	9	104	765	263	62	9.4
その他	1,425	70	250	807	260	38	7.5
計	7,473	139	750	4,715	1,544	325	8.6

4. 病院収容所要時間別搬送人員

時間 種別	計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均所要 時間(分)
急病	3,857	4	126	1,036	2,291	387	13	39.5
交通	577		10	143	318	103	3	42.9
一般負傷	1,100	1	31	239	674	150	5	41.8
その他	1,108	1	179	337	443	139	9	37.1
計	6,642	6	346	1,755	3,726	779	30	39.8

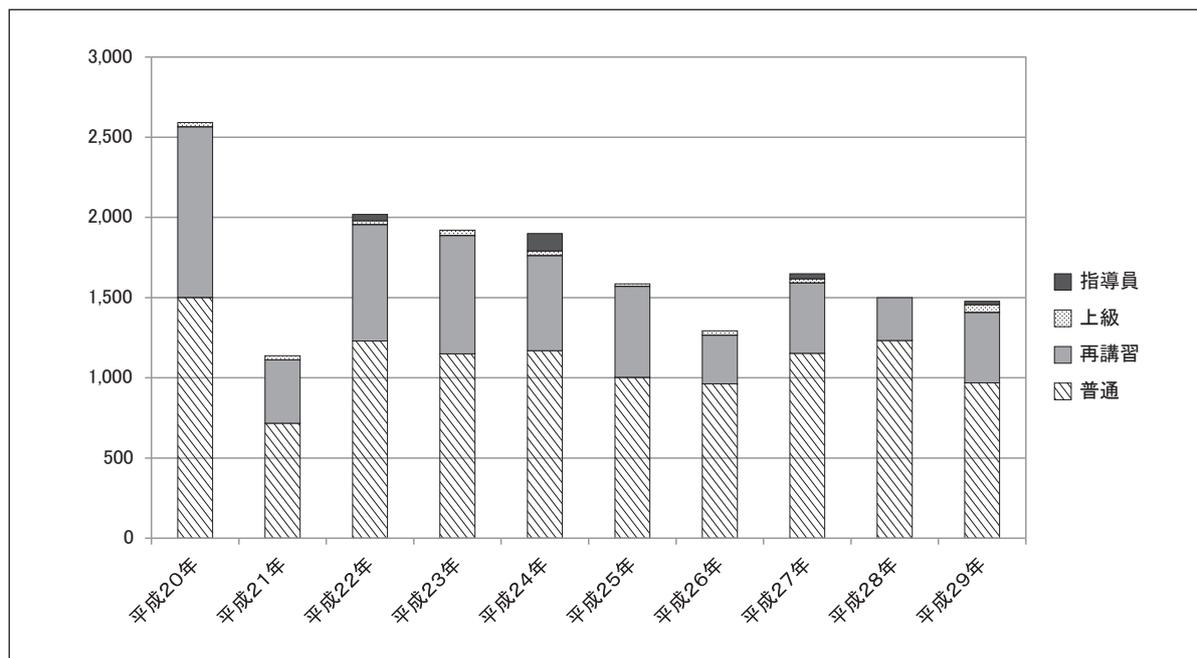
5. 応急手当普及啓発活動実施状況

事故などで心肺停止になった人を救うには、救急車が到着するまでの間に、そばに居合わせた人が速やかに心肺蘇生などの応急手当を行う必要があります。

心臓が止まってしまうような重大な事故は、いつ、どこで、何が原因でおこるかわかりません。心臓と呼吸が止まってから時間の経過とともに救命の可能性は急激に低下しますが、救急隊を待つ間に居合わせた人が心肺蘇生などを行うと救命の可能性が2倍程度に保たれることがわかっています。

いざというときのために地域の皆さまが応急手当の知識と技術を身につけて勇気を持って実践できるよう、応急手当の普及啓発活動を積極的に実施しております。

	普通救命講習			上級救命講習		指導員講習		計	
	回数	人員	再講習人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
平成20年	95	1,501	1,064	1	27			96	2,592
平成21年	49	716	396	1	26			50	1,138
平成22年	88	1,229	726	1	24	2	39	91	2,018
平成23年	79	1,149	739	1	32			80	1,920
平成24年	85	1,169	593	1	29	2	108	88	1,899
平成25年	69	1,003	567	1	16			70	1,586
平成26年	55	962	304	1	27			56	1,293
平成27年	63	1,153	439	1	25	2	32	66	1,649
平成28年	56	1,232	267					56	1,499
平成29年	69	968	440	1	48	2	21	72	1,477



VII 救 助

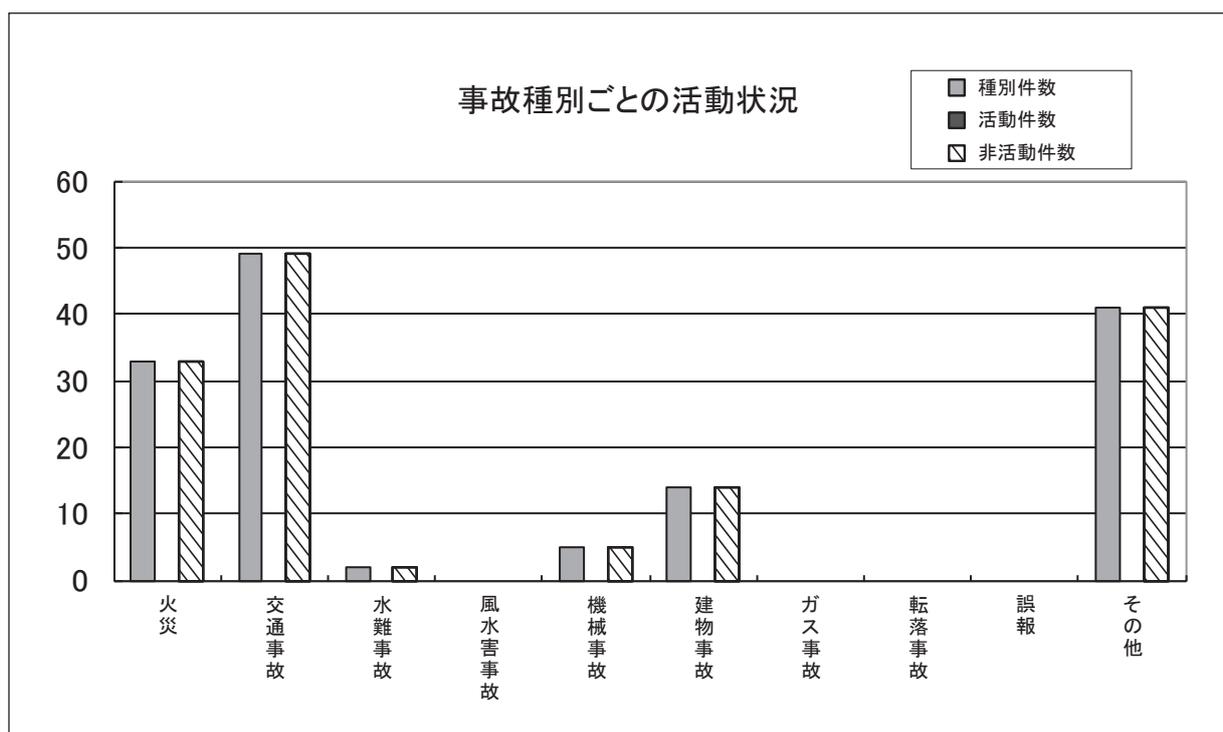
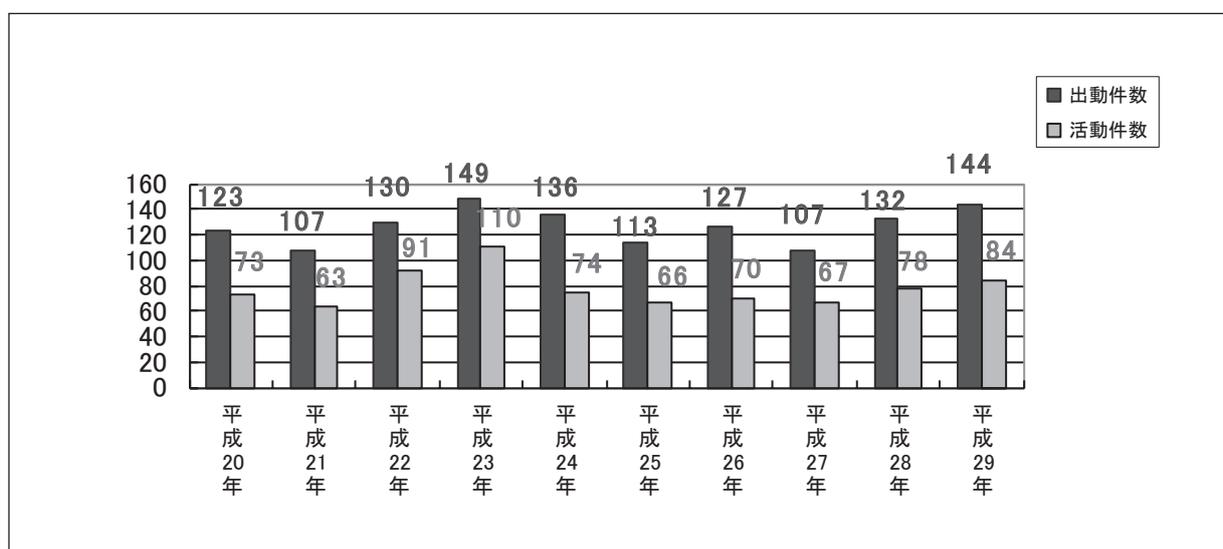
1. 救助概況

当消防本部は、特別救助隊及び兼任救助隊の2隊を編成しているが、複雑多様化する社会事象を反映し、その活動は広範多岐に及んでいる。

平成29年中における救助出動は144件（前年比12件増）で、このうち交通事故による出動が49件、火災による出動が33件であり、全体の57%を占めている。

また、大規模災害への対応や都市型救助等新しい資機材での救助活動を確立するため日々訓練を実施している。

過去10年間の救助出動・活動件数



2. 救助出動・活動状況

事故種別 活動状況		火災事故				交通事故		水難事故		自然災害等		機械による事故		建物事故		ガス事故及び		破裂事故		その他		計		
		建物火災		の建物火災以外		出場	活動	出場	活動	出場	活動	出場	活動	出場	活動	出場	活動	出場	活動	出場	活動	出場	活動	
		出場	活動	出場	活動																			
出動活動人員	専任救助隊員	69	58	27	18	164	50	13	6			17	4			44	21			151	50	485	207	
	兼任救助隊員	48	44			88	38	5	2			3				29	13			69	24	242	121	
	消防隊員	279	233	93	63	231	65	14	7			35	6			48	18			291	81	991	473	
	救急隊員	74	65	23	15	187	72	6	3			15	3			39	25			130	42	474	225	
	消防団員	410	99	2																			412	99
	計	880	499	145	96	670	225	38	18			70	13			160	77			641	197	2604	1125	
出動活動車両	救助工作車	21	18	8	5	48	15	2	1			5	1			13	7			41	14	138	61	
	消防ポンプ車	74	67	20	12	52	18	4	2			7	1			13	8			66	16	236	124	
	梯子車	3	3									1	1			1				3	1	8	5	
	化学車	3	2	1	1																		4	3
	指揮・指令車	25	20	10	6	52	18	3	1			7	2			11	5			43	14	151	66	
	救急車	24	21	8	5	62	26	2	1			5	1			13	10			44	14	158	78	
	ヘリコプター																							
	その他	3	2					2	1											8	5	13	8	
	消防団車両	121	10																				121	10
計	274	143	47	29	214	77	13	6			25	6			51	30			205	64	829	355		
発生場所別状況	住居	15	15												10	8			8		33	23		
	その他の屋内	8	8								2	1			2	1			5	3	17	13		
	高速自動車道			2	2	4	1												1		7	3		
	その他の道路			6	6	29	13														35	19		
	内水面					1	1	1											4	1	6	2		
	外水面							1	1												1	1		
	山岳																							
	その他の屋外	1	1	1	1	15	8				3				2	1			23	12	45	23		
	地下																							
その他																								
計	24	24	9	9	49	23	2	1			5	1			14	10			41	16	144	84		
他機関活動状況	警察車両					1														8		9		
	海上保安庁																							
	日本赤十字																							
	自衛隊																							
	水防団																							
	電力会社																							
	他の公的機関					1														2		3		
	事業主体																			1		1		
民間																								
計					2														11		13			
搬送車両	救急車		1			22					1				5					10		39		
	ヘリコプター																							
	他の消防車両																							
	消防機関以外		2																	2		4		
計		3			22					1				5					12		43			

3. 管轄別・市町別救助出動状況

事故種別 管轄別 市町村別	救 助 出 動 件 数	救 助 活 動 件 数	救 助 人 員 数	火 災 事 故			交 通 事 故			水 難 事 故			風 水 害 等 自 然 災 害			機 械 に よ る 事 故			建 物 事 故			ガ ス 及 び 酸 欠 事 故			破 裂 事 故			そ の 他 の 事 故		
				建 物 火 災	建 物 以 外		出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員 数	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員 数	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員 数	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員 数	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員 数	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員 数	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員 数	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員 数
				出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員 数	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員 数	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員 数	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員 数	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員 数	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員 数	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員 数	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員 数	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員 数
中央消防署	本 署	91	53	37	16	16	1	5	5	29	12	15	1	1	1			1		11	7	7					28	12	13	
	東 所	10	7	5	2	2	1	1	1	3	2	2					2	1	1	1	1	1					1			
	南 所	9	5	5	1	1	1			4	3	3					1										3	1	1	
	玖 西 所	23	13	7	5	5	1	2	2	9	3	3					1			2	2	2					4	1	1	
	玖 1 所	5	2	1				1	1	1																	3	1	1	
	玖 2 所	6	4	4						3	3	3	1														2	1	1	
合 計	144	84	59	24	24	4	9	9	49	23	26	2	1	1			5	1	1	14	10	10					41	16	17	
岩国地域	岩国地域	98	59	41	18	18	2	6	6	31	15	18	1	1	1			2		11	7	7					29	12	13	
	由宇地域	6	2	2						3	1	1															3	1	1	
	玖珂地域	8	4	3				1	1	1										2	2	2					4	1	1	
	本郷地域																													
	周東地域	15	9	4	5	5	1	1	1	8	3	3					1													
	錦 地域	6	3	2				1	1	1																	4	2	2	
	美川地域																													
	美和地域	4	3	3						3	3	3															1			
岩国市小計	137	80	55	23	23	3	9	9	47	22	25	1	1	1			3		13	9	9					41	16	17		
和 木 町	6	4	4	1	1	1			2	1	1						2	1	1	1	1	1								
大 竹 市																														
周 南 市																														
そ の 他	1											1																		
合 計	144	84	59	24	24	4	9	9	49	23	26	2	1	1			5	1	1	14	10	10					41	16	17	

VIII 予 防

1. 防火対象物の現況（その1 市町別）

項 別		市 町 別	市 町		計
			岩 国 市	和 木 町	
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場	5		5
	ロ	公会堂・集会場	89	7	96
2	イ	キャバレー・カフェ ナイトクラブ等	2		2
	ロ	遊技場・ダンスホール	11		11
	ハ	性風俗営業店舗等			
	ニ	カラオケ、ビデオ個室等	2		2
3	イ	待合・料理店等	3		3
	ロ	飲食店	87	1	88
4		百貨店・マーケット等	157	3	160
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	57	1	58
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	1,231	63	1,294
6	イ	病院・診療所・助産所	74	4	78
	ロ	老人短期入所施設 有料老人ホーム等	76	1	77
	ハ	老人デイサービスセンター等	97	1	98
	ニ	幼稚園・特別支援学校	36	1	37
7		小学校・中学校 高等学校・大学等	210	4	214
8		図書館・博物館・美術館	9	1	10
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場 熱気浴場等			
	ロ	イ以外の公衆浴場	2		2
10		停車場・発着場	8	2	10
11		神社・寺院・教会等	50	2	52
12	イ	工場・作業場	632	63	695
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫・駐車場	59	3	62
	ロ	飛行機・航空機格納庫			
14		倉庫	478	17	495
15		全各項に該当しない事業所	448	42	490
16	イ	複合用途防火対象物（特防）	315	5	320
	ロ	イ以外の複合防火対象物	234	5	239
17		重要文化財等	16	1	17
18		延長50メートル以上のアーケード	3		3
計			4,391	227	4,618

1. 防火対象物の現況（その2 署所別）

市 町 別 項 別			中 央 消 防 署					計	
			本署	東所	南所	玖西所	玖1所		玖2所
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場	4				1		5
	ロ	公会堂・集会場	31	16	10	19	7	13	96
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等	2						2
	ロ	遊技場・ダンスホール	7	2		2			11
	ハ	性風俗営業店舗等							
	ニ	カラオケ、ビデオ個室等	2						2
3	イ	待合・料理店等	2					1	3
	ロ	飲食店	63	7	3	10	3	2	88
4		百貨店・マーケット等	95	15	14	29	4	3	160
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	28	7	2	14	6	1	58
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	806	268	77	123	10	10	1,294
6	イ	病院・診療所・助産所	49	4	6	16	1	2	78
	ロ	老人短期入所施設 有料老人ホーム等	31	4	13	20	4	5	77
	ハ	老人デイサービスセンター等	43	12	11	21	4	7	98
	ニ	幼稚園・特別支援学校	28	4	2	3			37
7		小学校・中学校 高等学校・大学校	98	20	18	38	24	16	214
8		図書館・博物館・美術館	6	1	1	1		1	10
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場 熱気浴場等							
	ロ	イ以外の公衆浴場	1				1		2
10		停車場・発着場	7	3					10
11		神社・寺院・教会等	28	6	5	13			52
12	イ	工場・作業場	358	155	54	94	14	20	695
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫・駐車場	34	9	2	6	7	4	62
	ロ	飛行機・航空機格納庫							
14		倉庫	190	99	64	113	17	12	495
15		全各項に該当しない事業所	228	94	37	92	21	18	490
16	イ	複合用途防火対象物（特防）	247	24	17	23	6	3	320
	ロ	イ以外の複合防火対象物	145	48	13	24	7	2	239
17		重要文化財等	9	1		2	2	3	17
18		延長50メートル以上のアーケード	3						3
計			2,545	799	349	663	139	123	4,618

2. 中高層建築物

項 別			階 別								計	
			3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階		11階以上
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場	2									2
	ロ	公会堂・集会場	5	1		1						7
2	イ	キャバレー・カフェナイトクラブ等										
	ロ	遊技場・ダンスホール			1							1
	ハ	性風俗営業店舗等										
	ニ	カラオケ、ビデオ個室等	2									2
3	イ	待合・料理店等	2									2
	ロ	飲食店	8	4	5	1						18
4		百貨店・マーケット等	3	3	1		1					8
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	16	8	1		1		2	3	1	32
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	219	77	92	15	7	7	3	10	26	456
6	イ	病院・診療所・助産所	12	7	4	1					1	25
	ロ	老人短期入所施設 有料老人ホーム等	15	5	1	1						22
	ハ	老人デイサービスセンター等	8	3								11
	ニ	幼稚園・特別支援学校	6									6
7		小学校・中学校 高等学校・大学等	73	8	2			1				84
8		図書館・博物館・美術館等	3	2								5
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場 熱気浴場等										
	ロ	イ以外の公衆浴場										
10		停車場・発着場										
11		神社・寺院・教会等	5				1					6
12	イ	工場・作業場	91	42	10	1	1		4		2	151
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ										
13	イ	自動車車庫・駐車場	1		1	3						5
	ロ	飛行機・航空機格納庫										
14		倉庫	15	4		3	1					23
15		全各項に該当しない事業所	75	31	17	8	1		1			133
16	イ	複合用途防火対象物（特防）	81	43	15	10	4	2	2	1	1	159
	ロ	イ以外の複合防火対象物	81	33	8	7	5	3	2		2	141
17		重要文化財等	1									1
18		延長50メートル以上のアーケード										
計			724	271	158	51	22	13	14	14	33	1,300

3. 防火管理者選任状況

項 別		署 所 別	対象物	中 央 消 防 署						計
				本署	東所	南所	玖西所	玖1所	玖2所	
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場	2	1				1		2
	ロ	公会堂・集会場	90	28	17	9	18	7	11	90
2	イ	キャバレー・カフェ ナイトクラブ等	4	3						3
	ロ	遊技場・ダンスホール	11	8	2		1			11
	ハ	性風俗営業店舗等								
	ニ	カラオケ、ビデオ個室等	3	3						3
3	イ	待合・料理店等	3	2					1	3
	ロ	飲食店	74	54	5	2	4	2	1	68
4		百貨店・マーケット等	118	68	10	8	19	2	2	109
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	30	15	4	1	6	3	1	30
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	104	69	19	6	3	1		98
6	イ	病院・診療所・助産所	31	20		2	7	1	1	31
	ロ	老人短期入所施設 有料老人ホーム等	68	28	3	12	16	4	5	68
	ハ	老人デイサービスセンター等	58	31	6	8	6	1	2	54
	ニ	幼稚園・特別支援学校	23	15	4	1	3			23
7		小学校・中学校 高等学校・大学等	58	25	8	6	9	3	6	57
8		図書館・博物館・美術館	7	3	1	1	1		1	7
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場 熱気浴場等								
	ロ	イ以外の公衆浴場	2	1				1		2
10		停車場・発着場	1	1						1
11		神社・寺院・教会等	34	17	6	3	7			33
12	イ	工場・作業場	33	9	5	6	11	1		32
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫・駐車場	1							
	ロ	飛行機・航空機格納庫								
14		倉庫	1	1						1
15		全各項に該当しない事業所	87	40	10	9	13	5	8	85
16	イ	複合用途防火対象物（特防）	243	176	18	13	15	6	3	231
	ロ	イ以外の複合防火対象物	24	17	6		1			24
17		重要文化財等	2	2						2
18		延長50メートル以上のアーケード								
計			1,112	637	124	87	140	38	42	1,068

4. 防火対象物査察実施状況

項 別			署 所 別 消防本部 (予防課)	中 央 消 防 署						計
				本署	東所	南所	玖西所	玖1所	玖2所	
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場		1						1
	ロ	公会堂・集会場		31	15	10	17	1	11	85
2	イ	キャバレー・カフェ ナイトクラブ等		2				7		9
	ロ	遊技場・ダンスホール		6	1					7
	ハ	性風俗営業店舗等								
	ニ	カラオケ、ビデオ個室等		2						2
3	イ	待合・料理店等		2					1	3
	ロ	飲食店		57	7	1	7	2	2	76
4		百貨店・マーケット等	10	85	12	13	26	3	3	152
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所		27	7	2	16	5	1	58
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅		295	100	38	50	7	1	491
6	イ	病院・診療所・助産所		46	4	5	15		2	72
	ロ	老人短期入所施設 有料老人ホーム等		28	3	13	16	4	5	69
	ハ	老人デイサービスセンター等		40	6	10	17	2	6	81
	ニ	幼稚園・特別支援学校		22	4	2	3			31
7		小学校・中学校 高等学校・大学等		54	4	7	14	7	4	90
8		図書館・博物館・美術館		4		1	1			6
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場 熱気浴場等								
	ロ	イ以外の公衆浴場						1		1
10		停車場・発着場		2						2
11		神社・寺院・教会等		11	2	3	7			23
12	イ	工場・作業場		81	81	46	38	4	3	253
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫・駐車場		13	4	2	1	3	1	24
	ロ	飛行機・航空機格納庫								
14		倉庫		58	47	50	46	7	5	213
15		全各項に該当しない事業所		105	50	26	22	7	4	214
16	イ	複合用途防火対象物(特防)		206	21	16	19	6	3	271
	ロ	イ以外の複合防火対象物		59	19	8	9	5	2	102
17		重要文化財等	9	11	1		2	2	3	28
18		延長50メートル以上のアーケード								
計			19	1,248	388	253	326	73	57	2,364

5. 用途別消防用設備等受付事務処理状況

設 備 等 項 別	消 火 設 備						警 報 設 備					避 難 設 備				消火活動上必要				計					
	屋 内 消 火 栓	ス プ リ ン ク ラ ー	水 噴 霧 消 火 設 備 等	動 力 消 防 ポ ンプ	消 火 器 具	小 計	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	火 災 通 報 装 置	非 常 警 報			小 計	避 難 は し ご	緩 降 機	そ の 他	誘 導 灯	小 計	連 結 送 水 管		非 常 コ ン セ ン ト	排 煙 設 備	小 計		
										警 報 設 備	放 送 設 備	警 報 器 具													
1	イ		1			1	2	2				1		3				1	1					6	
	ロ	1					1																	1	
2	イ																								
	ロ		1				1	1				1		2				1	1					4	
	ハ ニ																								
3	イ																								
	ロ		1			2	3	2			1		3				3	3						9	
4		3	1		6	10	6			1	3	1	11				11	11						32	
5	イ				2	2	1			1			2				2	2						6	
	ロ	1	2	1	8	12	7			1			8	2			4	6	1	1		2		28	
6	イ		3		2	5	5		6		1		12				8	8						25	
	ロ		2		2	4	3		18				21				2	2						27	
	ハ				7	7	7		4	1			12	1		1	6	8						27	
	ニ																								
7	4				2	6	7			1			8											14	
8							1						1											1	
9	イ																								
	ロ																								
10			1			1	1						1			1	1							3	
11					1	1				1			1												2
12	イ	4	4	2		8	18	14			1		15				5	5							38
	ロ																								
13	イ			3		1	4	2					2				3	3							9
	ロ																								
14	2	1			9	12	5						5				2	2							19
15		6			8	14	16			2	2		20				12	12							46
16	イ		2		6	8	9		1		1		11				6	6							25
	ロ				3	3	3						3				1	1							7
17																									
18																									
計	12	26	8		68	114	92		29	9	10	1	141	3		1	68	72	1	1			2	329	

6. 用途別建築確認申請同意状況

区 分 項 別			確 認		許 可		計 画		計	
			岩国市	和木町	岩国市	和木町	岩国市	和木町	岩国市	和木町
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場								
	ロ	公会堂・集会場	1	1				1	1	2
2	イ	キャバレー・カフェ ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場・ダンスホール								
	ハ	性風俗営業店舗等								
	ニ	カラオケ、ビデオ個室等								
3	イ	待合・料理店等								
	ロ	飲食店	1					1		1
4		百貨店・マーケット等	11					11		11
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	1					1		1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	18	1			1	19	1	20
6	イ	病院・診療所・助産所	2					2		2
	ロ	老人短期入所施設 有料老人ホーム等	1					1		1
	ハ	老人デイサービスセンター等	5	1				5	1	6
	ニ	幼稚園・特別支援学校								
7		小学校・中学校 高等学校・大学等	2		1			3		3
8		図書館・博物館・美術館								
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場 熱気浴場等								
	ロ	イ以外の公衆浴場	1					1		1
10		停車場・発着場								
11		神社・寺院・教会等								
12	イ	工場・作業場	21					21		21
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫・駐車場								
	ロ	飛行機・航空機格納庫								
14		倉庫	6					6		6
15		全各項に該当しない事業所	22		1		2	25		25
16	イ	複合用途防火対象物（特防）								
	ロ	イ以外の複合防火対象物	2	2				2	2	4
17		重要文化財等								
18		延長50メートル以上のアーケード								
住 宅			94	4	5	2	4	103	6	109
工 作 物										
そ の 他			18		2		6	26		26
計			206	9	9	2	13	228	11	239

7. 工事種別建築確認申請同意状況

市町別	工事種別	建築確認申請同意状況				計
		新 築	増 築	改 築	そ の 他	
岩 国 市		166	56	1	5	228
和 木 町		11				11
計		177	56	1	5	239

8. 火災予防条例等に基づく届出状況

区 分	署 所 別	中 央 署						計	
		消防本部	中央署	東出張所	南出張所	玖西所	玖1所		玖2所
防火対象物使用開始届		132						132	
消防用設備等設置届		275						275	
消防用設備等着工届		198						198	
炉・ボイラー等設置届			4	1	3	1	1	11	
乾燥設備設置届			2				1	4	
発電設備設置届			14	3	15	2	1	35	
変電設備設置届			34	5	2	6	1	48	
蓄電池設備設置届			17	2		2	3	26	
ネオン管灯設備設置届									
水素ガスを充てんする気球の設置届									
火災とまぎらわしい行為の届			31	21	15	13	1	33	114
煙火打上げ仕掛け届			10	2	3	29	2	7	53
催物開催届			2			4		3	9
水道断水・減水届			13		3				16
道路工事届			148	18	49	77	25	9	326
露店等の開設届出書			52	3	5	20	8	16	104
火災予防上必要な業務に関する計画提出書	1								1
表示マーク交付(更新)申請	2								2
少量危険物貯蔵取扱い届			15	4	12	3	2	1	37
指定可燃物貯蔵取扱い届			9	3	4	3			19
核物質等貯蔵取扱い届			8	14					22
劇場等において火気使用願	14								14
圧縮アセチレンガス等届			30	6	4	19		2	61
液化石油ガス設備設置届	4								4
計		626	389	82	115	179	45	75	1,511

9. 火薬類取締法関係処理状況

区 分	許 可						立 入 検 査 等			
	製 造 許 可	販 売 営 業 許 可	譲 渡 許 可	譲 受 許 可	譲 受 ・ 消 費 許 可	消 費 許 可 (煙 火)	火 薬 庫	火 薬 類 販 売 所	火 薬 庫 外 貯 蔵 所	消 費 場 所
岩 国 市			1		9	15	6	2	2	14
和 木 町										
合 計			1		9	15	6	2	2	14

10. 危険物事務処理状況

区分	許可申請		完成検査申請		タンク検査申請						仮使用承認	仮貯蔵仮取扱承認	予防規程認可	軽微変更届	移動タンク貯蔵所転入	移動タンク貯蔵所転出	廃止届	名称変更・譲渡引渡届	品名数量変更届	保安監督者選解任届	合計
	設置	変更	設置	変更	水張	水圧	溶接部	保安検査	基礎地盤												
合計	23	209	29	181	35	4	9	12			134	74	9	577	2		23	30	19	37	1,407
岩国市	22	101	29	98	12	4	1			78	37	8	508	2		16	26	14	33	989	
和木町	1	108		83	23		8	12		56	37	1	69			7	4	5	4	4	418

11. 危険物施設数及び立入検査実施状況

製造所等の別	合計		貯蔵所								取扱所					合計
	製造所	製造所以外	屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	
合計	27	999	8	429	8	93	3	116	24	234	89	4		12	129	
岩国市	14	711	8	206	8	88	3	116	18	199	87	4		5	103	
和木町	13	288		223		5			6	35	2			7	26	
検査実施数	7	365	6	71	6	52	3	91	2	108	55	1		4	48	

12. 危険物施設事業所数

区分 市町別	事業所数	事業所	事業所	事業所	事業所
		管理者を要する 危険物保安統括所	保安員を要する 危険物施設	を要する事業所 予防規程の作成所	する事業所 衛防災組織を要 石災法により自
岩 国 市	224		7	69	5
和 木 町	7	2	2	2	2
合 計	231	2	9	71	7

13. 屋外タンク貯蔵所容量別数

容量別	100KL未満	100KL以上 500KL未満	500KL以上 1,000KL未満	1,000KL以上 10,000KL未満	10,000KL以上 50,000KL未満	50,000KL以上 100,000KL未満	合 計
基 数	96	123	64	88	54	4	429

14. 危険物施設倍数別状況

製造所等の別 倍数別	合計	貯蔵所									取扱所				
		小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
合計	999	738	65	429	8	93	3	116	24	234	89	4		12	129
5倍以下	202	156	23	17	7	58	3	45	3	42	5				37
5倍を超え 10倍以下	104	70	18	13		20		9	10	34	9	1			24
10倍を超え 50倍以下	182	126	11	69	1	13		25	7	51	25	3			23
50倍を超え 100倍以下	106	82	3	51		1		23	4	22	11				11
100倍を超え 150倍以下	41	34	1	18		1		14		6	4				2
150倍を超え 200倍以下	35	16	2	14						19	14				5
200倍を超え 1,000倍以下	134	90	3	87						39	21			3	15
1,000倍を超え 5,000倍以下	77	66	3	63						8				3	5
5,000倍を超え 10,000倍以下	43	38		38						3					3
10,000倍を超え その他	75	60	1	59						10				6	4

15. 危険物取扱者試験の実施状況

年 度		種 別	甲 種	乙 種						丙 種	合 計	合 格 率 %
				1 類	2 類	3 類	4 類	5 類	6 類			
28 年 度	第 1 回	受 験 者	23	31	43	32	449	43	35	6	662	41.4
		合 格 者	6	23	28	26	142	27	17	5	274	
	第 2 回	受 験 者	23	57	40	26	362	39	53	16	616	38.6
		合 格 者	9	28	31	19	92	22	31	6	238	
29 年 度	第 1 回	受 験 者	33	24	38	32	479	37	24	10	677	44.0
		合 格 者	9	18	32	28	161	30	13	7	298	
	第 2 回	受 験 者	29	78	34	26	336	23	86	11	623	49.0
		合 格 者	15	39	24	18	131	13	57	8	305	

16. 化学消火剤備蓄状況（単位ℓ）

岩国地区消防組合	メガフォーム 6% (F610 - AT)	2,600
	メガフォーム 6% (AGF - T)	3,600
	メガフォーム 3% (AGF - 3T)	4,000
	合 計	10,200
岩国地区化学消火剤 共同備蓄会	メガフォーム 6% (F610 - AT)	5,260
	メガフォーム 6% (AGF - T)	4,800
	合 計	10,060
総 合 計		20,260

17. 広報活動等の実施状況

区分	本部・署別	消防本部 (予防課)		中央消防署		計	
		回数	対象人員	回数	対象人員	回数	対象人員
避難訓練				223	13,552	223	13,552
消火訓練				235	12,675	235	12,675
消防訓練		1	100	234	7,971	235	8,071
クラブ等の指導		11	272			11	272
防火映画		5	175	12	1,055	17	1,230
防火講習会		1	20	15	1,078	16	1,098
街頭広報		19		164		183	
チラシ配布		17	3,140	40	154	57	3,294
防災行政無線広報誌等広報		88		14		102	
防火管理講習会 (再講習含む)	甲	3	136			3	136
	乙	2	13			2	13
危険物取扱者保安講習		6	644			6	644
一般家庭防火訪問				39	55	39	55
火気取扱い指導		5	69	101	717	106	786
その他		4	315	129	3,990	133	4,305

18. 幼年・少年消防クラブの現況

ク ラ ブ の 名 称	結 成 年 月 日	ク ラ ブ 員 数	諸 活 動 回 数						
			消 火 講 習	防 火 映 画	署 内 見 学	訓 練 実 習	出 初 式	防 火 パ レ ード 等	そ の 他
愛宕地区少年消防クラブ	S 55.8.7	9		1		1			4
通津少年消防クラブ	S 56.6.14	12				1			5
あさひ保育園幼年消防クラブ	S 58.10.20	33	2		1	5		1	4
玖珂中央幼稚園幼年消防クラブ	S 62.3.27	51	1			12		3	4
さかうえ保育園幼年消防クラブ	S 62.6.24	46	1	1		12		1	3
岩国南幼稚園幼年消防クラブ	S 63.11.12	181	1		1	2			5
岩国中央幼稚園幼年消防クラブ	H 14.3.12	92	1			5		1	3
和木幼稚園幼年消防クラブ	H 14.10.15	143				11		1	
ひろせ保育園幼年消防クラブ	H 15.10.1	17				12			3
由宇保育園幼年消防クラブ	H 16. 9.1	27				12		2	6
周東幼稚園幼年消防クラブ	H 17.11.2	33	1			3		2	3

19. 婦人消防隊の現況

消 防 隊 の 名 称	結 成 年 月 日	隊 員 数	資 機 材			操 法 訓 練	出 初 式	隊 員 研 修	そ の 他
			小 ポ ン 動 力 プ	ホ ー ス	筒 先				
柱島婦人消防隊	S.56. 4. 1	7	1	5	1			2	3
阿品婦人消防隊	H. 1.12. 1	11	1	5	1			2	2

IX 消 防 団

1. 消防団の人員と主要装備

人員等	人員		人員階級							消防車両等				連絡用器具						
	定員	実員	団長	副団長	(方面隊長格) (副方面隊長格)	分団長	副分団長	部長	班長	団員	消防ポンプ自動車	積載小型動力ポンプ付車	小型動力ポンプ	その他の車両	車載用無線機	携帯用無線機	簡易無線機	トランシーバー	無線受令機	
市町																				
合計	1,770	1,585	2	7	9	20	55	61	149	321	961	44	99	59	13	16	14	305	492	134
岩国市	1,685	1,524	1	6	9	20	52	58	143	311	924	41	97	52	11	12	5	305	480	134
団本部		16	1	6			3		1	2	3			8	3	2	5	0	6	2
岩国西方面隊		315			1	3	7	7	38	72	187	9	21	12		1		57	87	29
岩国東方面隊		281			1	3	6	6	34	65	166	7	21	23		2		62	96	24
由宇方面隊		116			1	2	5	9	10	27	62	4	6	2	1	1		23	36	10
玖珂方面隊		86			1	2	7	7		7	62	2	6	4		1		17	27	7
本郷方面隊		63			1	2	6	6	5	7	36	1	5			1		13	21	5
周東方面隊		238			1	2	5	5	18	44	163	3	19	1	2	1		49	75	23
錦方面隊		162			1	2	4	4	16	16	119	5	8		5	1		33	51	14
美川方面隊		73			1	2	2	2	9	47	2	8			1	1		24	39	9
美和方面隊		175			1	2	7	12	12	24	124	2	11	2		1		27	42	11
和本町	85	61	1	1			3	3	6	10	37	3	2	7	2	4	9	0	12	0

2. 消防団活動状況

市 町		区 分		火 災		水 防		訓練・その他		合 計	
				出動回数	出動人員	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員
岩 国 市	団本部	本 部 分 団	20	87	0	0	88	357	108	444	
	岩国南方面隊 1～3月	岩国・愛宕・通津・灘分団	2	96	0	0	10	384	12	480	
	岩国西方面隊 1～3月	師木野・御庄・藤河・北河内・南河内分団	0	0	0	0	11	391	11	391	
	岩国西方面隊 4～12月	岩国・小瀬・師木野・御庄・藤河・北河内・南河内分団	3	135	0	0	62	1,823	65	1,958	
	岩国東方面隊 1～3月	麻里布・川下・小瀬・柱島分団	0	0	0	0	10	353	10	353	
	岩国東方面隊 4～12月	麻里布・川下・愛宕・灘・柱島・通津分団	10	352	0	0	68	1,689	78	2,041	
	由宇方面隊	本 部 及 び 第 1～5 分 団	0	0	0	0	64	642	64	642	
	玖珂方面隊	本 部、中 央 第 1～5 分 団	7	57	0	0	78	572	85	629	
	本郷方面隊	本 部 及 び 第 1～6 分 団	0	0	0	0	55	384	55	384	
	周東方面隊	本 部 及 び 第 1～5 分 団	5	160	1	5	103	1,389	109	1,554	
	錦方面隊	本 部 及 び 第 1～4 分 団	2	8	0	0	94	1,326	96	1,334	
	美川方面隊	本 部 及 び 第 1～3 分 団	0	0	0	0	57	534	57	534	
	美和方面隊	本 部 及 び 第 1～6 分 団	0	0	0	0	123	1,538	123	1,538	
小 計			49	895	1	5	823	11,382	873	12,282	
和 木 町	本 部 及 び 第 1～3 分 団		1	26	0	0	87	549	88	575	
合 計			50	921	1	5	910	11,931	961	12,857	

3. 消防団員の年齢構成

区 分		計	年齢								平均年齢	
			20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満	40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満		55歳以上
岩国市	団本部	16				1		2		1	12	58
	岩国西方面隊	315		2	6	9	32	38	56	45	127	51
	岩国東方面隊	281		3	12	18	24	48	34	45	97	49
	由宇方面隊	116		4	6	12	12	20	12	18	32	47
	玖珂方面隊	86			1	10	8	10	11	14	32	50
	本郷方面隊	63		1	1	3	2	8	8	15	25	52
	周東方面隊	238		5	7	15	24	46	47	29	65	47
	錦方面隊	162		1	5	5	19	25	17	21	69	51
	美川方面隊	73			1		7	8	14	11	32	52
	美和方面隊	175	1	2	11	7	21	35	25	34	39	46
和木町	61	1	1	1	8	9	14	12	6	9	45	

4. 消防団員の在職年数

区 分		計	在職年数							平均年数	
			1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～25年未満	25～30年未満		30年以上
岩国市	団本部	16		2	1		2	1	3	7	26
	岩国西方面隊	315	12	40	42	45	79	40	35	22	15
	岩国東方面隊	281	8	51	46	34	38	43	27	34	15
	由宇方面隊	116	1	18	21	20	16	5	13	22	17
	玖珂方面隊	86	2	13	10	8	19	9	12	13	18
	本郷方面隊	63		10	14	2	10	12	7	8	17
	周東方面隊	238	10	35	27	33	43	39	21	30	16
	錦方面隊	162	3	19	30	18	19	19	28	26	18
	美川方面隊	73		2	14	8	9	11	9	20	21
	美和方面隊	175	10	21	22	25	22	39	17	19	16
和木町	60	5	9	13	16	6	8	3	1	13	

5. 消防団員年額報酬

岩 国 市

(単位 円)

団 長	副団長 (方面隊長)	方面副隊長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
78,000	64,500	55,000	46,000	41,000	33,500	32,500	31,500

和 木 町

(単位 円)

団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
86,400	72,000	62,400	57,600	54,000	37,500	36,500

6. 消防団員費用弁償

(単位 円)

種 別 市町村	火 災	警 戒	訓 練	水 防	そ の 他
岩 国 市	6,800	6,800	4,300	6,800	4,300
和 木 町	7,000	6,300	3,600	7,000	2,500

平成 30 年 3 月 発行

編 集 岩国地区消防組合
消 防 本 部 総 務 課

〒740-0037 岩国市愛宕町一丁目4番1号
TEL (0827) 31-0193
FAX (0827) 32-2119
E-mail ifd119@joy.ocn.ne.jp
URL <http://www.iwakuni-fd.or.jp/>

